令和元年版

消防年報

大磯町消防本部

ま　え　が　き

この消防年報は、大磯町の消防現勢と令和元年中の消防業務の実態等について紹介するものです。

統計資料は主として令和２年４月１日現在で記載していますが、火災・救急・気象・その他一部の統計資料につきましては、暦年によって記載しました。

本書が、本町消防行政について、ご理解をいただくために少しでもお役にたてれば幸いです。

令和２年７月

大磯町消防本部

災害動向（平成31年１月１日～令和元年12月31日）

●火災発生状況

火災発生件数は７件で、前年より８件の減少となっています。火災の種別では、「建物火災」１件、「車両火災」２件、「その他の火災」４件となっており、「建物火災」の件数は、前年より４件の減少となっています。出火原因は、「失火」３件、「その他(放火・不審火含む)」４件でした。なお、火災により亡くなられた方はおりませんでした。

●119番通報状況

119番通報の着信件数は1,887件で、前年より14件の増加となっています。通報の内訳は、「救急」1,390件、「火災」18件、「救助」８件、「問い合わせ」140件、「間違い」や「いたずら」35件、「試験・訓練」77件、それ以外の着信件数は219件でした。

●気象状況

年間の降雨量は1,317.5㎜で、前年に比べ180.5㎜の増加となっています。１ヶ月の降雨量が200㎜を超えた月は10月で、その月の降雨量は342㎜でした。

気象警報の発表状況は、「大雨警報」５件（前年より１件増加）、「洪水警報」４件（前年より１件増加）、「波浪警報」４件（前年より１件減少）、「暴風警報」３件（前年より１件増加）となっています。

●救急活動

救急活動の出場件数は1,692件で、前年に比べ１件の減少、搬送人員は1,606人で３人の減少となっています。事故種別では、「急病」1,169件、「一般負傷」271件、「交通事故」98件、それ以外の出動件数は154件でした。

年齢別では、65歳以上の高齢者の搬送人員が1,073人（66.8％）と最も多く、前年と同数となっています。また、傷病の程度では、重症の搬送人員は102人（6.3％）で９人増加し、中等症は599人（37.2％）で167人の減少となっており、軽症の搬送人員は880人（54.7％）で前年より160人の増加となり最も増えている状況です。

●救助活動

救助活動の出場件数は13件で、前年と比べ３件の増加、救助人員は９人で前年と同数となっています。事故種別では、「交通事故」４件、「水難事故」３件、それ以外の事故件数は６件でした。

●救急支援活動

救急支援活動の出場件数は304件で、前年と比べ３件の増加となっています。支援種別では、「その他（救急隊の活動を円滑に行なうための出動等）」が219件、「搬出困難」49件、「交通事故」33件、「ヘリポート確認」３件でした。

大磯町町民憲章

わたくしたちは、高麗、鷹取の山なみや、こゆるぎの浜に象徴される美しい自然と由緒ある歴史、文化に恵まれた大磯の地を愛し、誇りとし、さらに住みよいまちづくりを目ざして、ここに町民憲章を定めます。

1　恵まれた自然と伝統を守り、文化の向上に努め、豊かなまちにしましょう。
1　公徳心と心のふれあいをたかめ、世界に誇れる美しいまちにしましょう。
1　心とからだをきたえ、健康で働くことを喜びあえる明るいまちにしましょう。

(昭和 56 年１月１日制定)

● 町の鳥

「かもめ」は、昭和 59 年 12 月に町のイメージにふさわしい鳥として制定されました。

「アオバト」は平成 22 年 11 月に町の鳥として新たに制定されました。群をなして照ヶ崎海岸の岩礁に海水を求め飛来しています。

● 町の花

「はまひるがお」は、平成 10 年２月に大磯町のなぎさのイメージにふさわしい花として制定されました。径４～５センチの薄紅色の花は、漏斗状（ろうとじょう）で筒が太く、海岸の砂浜に生える、つる性の多年草です。

△かもめ

△アオバト

△はまひるがお

● 町の木

豊かな自然に恵まれた大磯にもっともふさわしい町の木は、昭和 50 年４月に町民の公募で決定され、高い木ではまつ科の「くろまつ」、低い木ではつばき科の「さざんか」が選ばれました。

△くろまつ

△さざんか

凡　　　例

1　本書は、大磯町の消防現勢と令和元年中の消防活動のあらましを収録しものです。

2　各表の年次については、右上欄外に明記してありますが、記載のないものは令和元年中の数値です。

3　数字の単位未満は、四捨五入を原則としました。そのため、合計数と内訳が一致しない場合があります。

4　統計表中の符号の用法は次のとおりです。

「０」……単位未満

「…」……不　詳

※　欄内が空白の部分は、皆無または該当数字なしとなっています。

―― 目　　次 ――

大磯町の地勢 ―――― 1
面積・人口・世帯数 ―――― 2

［ 消 防 の 概 要 ］
大磯町消防のあゆみ ―――― 3~10
歴代消防長・消防団長 ―――― 11
消防庁舎の現況 ―――― 12
消防機構図 ―――― 13
消防本部・署事務分掌 ―――― 14, 15
消防本部・署の現勢 ―――― 16
常備消防力の基準と現有消防力の比較 ―――― 17
消防配置図 ―――― 18
消防本部・署現有車両機械状況 ―――― 19
機械器具等 ―――― 20
消防水利状況 ―――― 21
町内消火栓管区図 ―――― 22

［ 総　務 ］
主要行事 ―――― 23
消防予算額 ―――― 24
町総予算（一般会計）と消防予算との比較 ―――― 24
消防費と世帯・人口比 ―――― 24
消防職員定員・実員・年齢 ―――― 25

［ 火 災・通 信・気 象 ］
月別火災発生状況 ―――― 26
原因別火災状況 ―――― 27
地区別出火状況 ―――― 28
専用電話(119番)月別着信状況 ―――― 29
現有無線局状況 ―――― 30
気象状況・気温と湿度 ―――― 31
気象通報受信状況 ―――― 32

［ 救 急・救 助 ］
救急活動状況 ―――― 33
地区別救急出場件数 ―――― 34
時間別救急出場件数 ―――― 35
曜日別救急出場件数 ―――― 35
年齢区分別・傷病程度別搬送人員 ―――― 36
収容病院別搬送人員 ―――― 37
事故種別応急処置回数 ―――― 38
月別救急支援活動件数 ―――― 39
月別救助活動件数 ―――― 40

［ 予 防 ］
防火対象物状況 ―――― 41
防火管理者届出及び消防計画届出状況 ―――― 42
火災予防関係届出状況 ―――― 43
建築物消防同意状況 ―――― 44
用途地域別建築物消防同意 ―――― 45
中高層建築物状況 ―――― 46
危険物関係届出状況 ―――― 47
危険物施設状況 ―――― 48
指定数量別危険物製造所等の状況 ―――― 49
地区別危険物施設及び貯蔵・取扱数量 ―――― 50

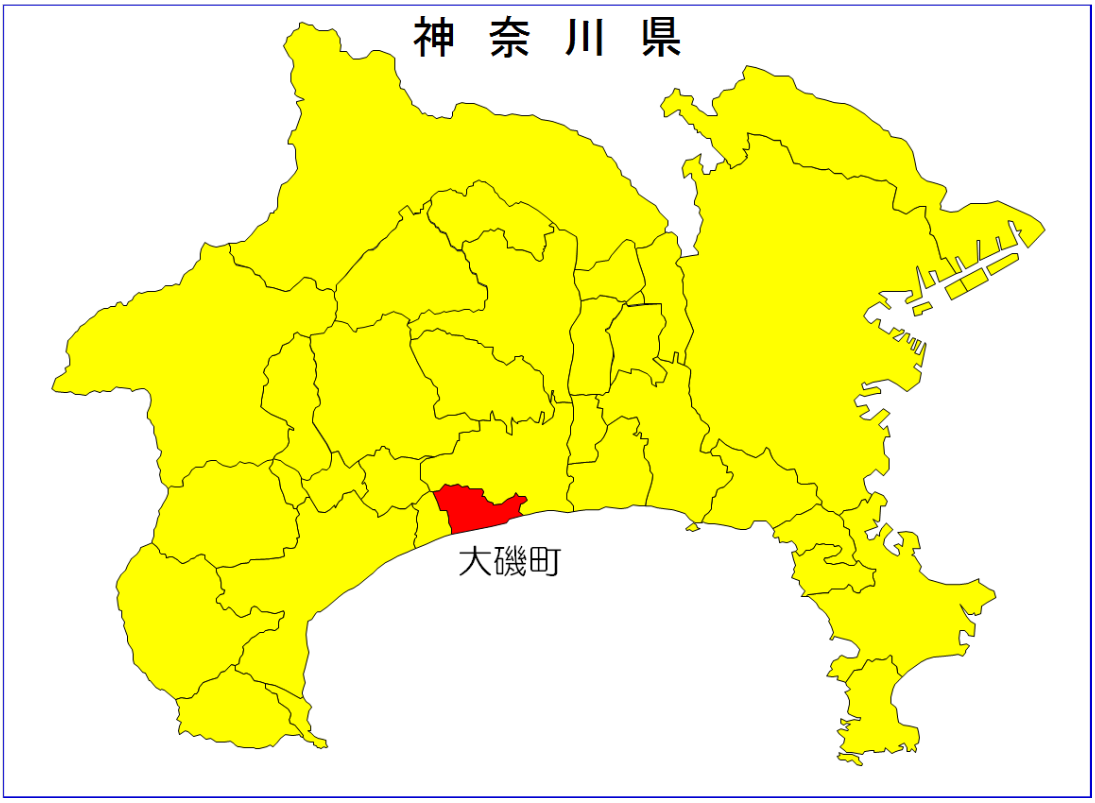
［ 消 防 団 ］
消防団の現勢 ―――― 51
消防団の現況 ―――― 51
消防団分団別受持区域図 ―――― 52
消防団分団別受持区域表 ―――― 53
各分団所在地 ―――― 54
消防団員階級別年齢 ―――― 55
職業別消防団員数 ―――― 56
消防団員在職年数 ―――― 56
消防団員報酬額 ―――― 56
消防団員費用弁償額 ―――― 56
消防団現有車両機械状況 ―――― 57

［ その他　統計 ］
防災訓練実施状況 ―――― 58
各講習会実施状況 ―――― 58
救命講習会等実施状況 ―――― 59
参考資料 ―――― 60

大磯町の地勢

大磯町は、神奈川県の中央南部（東経 139°18’，北緯 35°18’）に位置しています。南は相模湾、北は高麗山や鷹取山をはじめとした大磯地塊の丘陵地帯で、北と東は平塚市、西は二宮町と境を接しています。東西約 7.6 ㎞、南北約 4.1km のやや東西に長い形をしており、面積は 17.23ｋ㎡で、市街地は国道１号沿いの平坦部に形成されています。まちの 65%を丘陵部が占め、気候は海岸沿いに流れる暖流の影響で温暖です。

※　緯度、経度は大磯町役場の位置



人口・世帯数

（令和2年4月1日現在）

字名	世 帯 数	人 口		
		総　数	男	女
高　麗	1,044	2,560	1,283	1,277
高麗一丁目	338	930	473	457
高麗二丁目	558	1,308	650	658
高麗三丁目	148	322	160	162
東　町	696	1,744	866	878
東町一丁目	257	615	312	303
東町二丁目	134	369	189	180
東町三丁目	305	760	365	395
大　磯	2,553	6,004	2,947	3,057
東小磯	1,251	3,028	1,470	1,558
西小磯	1,648	4,203	2,018	2,185
国府本郷	2,029	5,145	2,519	2,626
国府新宿	1,260	3,220	1,558	1,662
生　沢	856	1,967	992	975
寺　坂	114	279	143	136
虫　窪	90	361	166	195
黒　岩	81	183	84	99
西久保	54	126	64	62
石神台	698	1,601	760	841
石神台一丁目	247	570	270	300
石神台二丁目	196	459	218	241
石神台三丁目	255	572	272	300
月　京	285	710	334	376
町内全地区合計	12,659	31,131	15,204	15,927

参考	総面積	1k㎡あたりの	
	17.232k㎡	世帯数	人口(人)
		735	1,807

大磯町消防のあゆみ

明６．８	町内から発生した火災で、尾上本陣内に設けられていた小学校が焼失。
明22．３	壮年者（後の若者組、青年会の前身）による町内単位の自衛消防組が組織され鳶掛、竜吐水掛、水掛、梯掛の四部に分かれ、村長、警察官、議員の指揮に従った。
明22．３	町村制が施行され、大磯町・国府村が誕生。
明23．８	南下町から出火し、折からの烈風にあおられ町の大半を焼失。中川町長は住宅の過密化緩和のため長者町への移住を推進した。
明27．５．１	消防組令の公布。
明31.10.13	台町の火災により妙昌寺焼失。
明35.12.25	町内の旅館から出火、町の大半を焼失。
明43.12.28	農家から出火、中丸の大半を焼失。飛火は西小磯金龍寺に及び焼失。
大12．９．１	関東大震災発生。
昭14．４．１	警防団令の公布。
昭20．７.16	平塚市空襲の際、大磯町・国府村寺坂に焼夷弾の落下を受け民家約40戸を焼失。
昭22．５．１	消防団令の公布により自治体消防として発足。
昭29.12．１	町村合併促進法に基づき大磯町、国府町の合併により大磯町が発足。（面積17.19k㎡、人口21,595人）
昭30．６．１	大磯町消防団結団式を挙行、２本部10分団487名。
昭31．９．１	小型動力ポンプ１台購入、第１分団に配置。
昭32．７.24	小型動力ポンプ２台購入、第３分団及び第５分団に配置。
昭33．８.28	小型動力ポンプ２台購入、第２分団及び第10分団に配置。
昭34．４．１	消防の充実を図るため団員数を縮小し、１分団25名とした。
昭34．８	第９回県消防操法大会に、第１分団が小型動力ポンプの部に出場。
昭34.10.18	第６分団に三輪ポンプ車を配置。
昭34.12.22	小型動力ポンプ３台購入、第４分団、第７分団、第８分団に配置。
昭35.11.26	消防ポンプ自動車（いすゞ）購入、消防団第１本部に配置。
昭37．７．１	大磯町火災予防条例を制定。
昭37.12.25	消防ポンプ自動車（ニッサンパトロール）購入、消防団第２本部に配置。
昭38．２.11	日本消防協会から団旗竿頭綬（かんとうじゅ）を拝受。
昭38．４．１	消防の充実を図るため１分団20名とした。
昭38．６．５	消防団本部火の見上に、火災報知用サイレンを設置。
昭38.11．８	大磯町防災会議条例及び大磯町災害対策本部条例を制定。
昭39．７．１	大磯町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例を制定。
昭39．８	第14回県消防操法大会に、消防団第２本部が自動車ポンプの部に出場。
昭39.11.21	小型動力ポンプ１台購入、第９分団に配置。
昭40．３.11	大磯町課等設置条例の一部を改正。従来の総務課庶務係（消防）に代わり４月１日をもって消防課を設置。
昭40．４．１	消防の充実を図るため１分団15名とした。
昭40．４．２	消防課職員２名、県消防学校へ入校。
昭40．６.16	神奈川県から救急車（ﾌﾟﾘﾝｽ 1,900cc）受贈、消防課に配置。役場庁舎前に消防庁舎（１階車庫、２階事務室、仮眠室103.95㎡）を建設。
昭40．８．５	救急業務開始。消防課職員10名。
昭40.10．７	第15回県消防操法大会に、第２分団が小型動力ポンプの部に出場。

昭41．３．５　消防課に無線(短波)を開局。

昭41．４．１　消防課職員４名増員。

昭41．８．18　大磯町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例を制定。

昭41．９．26　大磯町消防団員等公務災害補償条例を制定。

昭42．４．１　消防課職員４名増員。

昭42．５．12　政令により消防本部、署設置の指定を受ける。

昭42．10．１　常設消防設置準備室設置。県消防学校教官、秋本芳男氏の派遣を受け、１年間消防本部、署の創設業務と職員の教養指導を受けた。

昭42．10．９　県消防協会から広報車(三菱コルト 1,500cc)受贈、消防課に配置。

昭42．11．９　消防ポンプ自動車　(ニッサンＦR40) 購入、消防課に配置。

昭42．12．27　消防ポンプ自動車 (ニッサンFR40) 購入、消防団第２本部(現在の第12分団)に配置。

昭43．１．11　前第２本部車を第５分団に積載車として配置。

昭43．３．18　大磯町消防本部及び消防署の設置等に関する条例及び大磯町消防償慰金条例制定。

昭43．４．１　大磯町消防本部、消防署設置。消防職員23名。

昭43．６．１　消防本部、署職員１名採用。

昭43．９．20　軽消防積載車購入、小型動力ポンプとともに消防署に配置。

昭43．10．７　第18回県消防操法大会に、消防団第１本部が自動車ポンプの部に出場。消防署も応用操法の部に出場､模範演技を披露。

昭44．10．31　救急自動車購入、消防署に配置。

昭45．１．16　消防庁、日本自動車工業会から救急自動車受贈、消防署に配置。

昭45．４．１　消防団組織改組。第１本部を第11分団に､第２本部を第12分団とし､本部長副本部長制を廃止、副団長３名を選出。

昭45．11．17　積載車 (ニッサンジュニア 1,600cc) 購入、第２分団に配置。

昭46．２．24　消防ポンプ自動車 (ニッサンパトロール 3,956cc)購入、第６分団に配置。

昭46．８．21　第21回県消防操法大会に、第12分団が自動車ポンプの部に出場。

昭46．11．７　消防署に化学車 (いすゞ TXD50E)配置。

昭46．11．17　積載車(ニッサンジュニア 1,600cc)２台購入、第４分団、第７分団に配置。

昭47．１．１　消防本部、署職員１名採用。

昭47．４．１　消防本部、署職員１名採用。

昭47．10．５　消防ポンプ自動車 (ニッサンパトロール 3,956cc)購入、第１分団に配置。

昭47．11．９　積載車(ニッサンジュニア 1,600cc)３台購入、第８分団、第９分団、第10分団に配置。

昭47．11．11　消防本部、署職員１名採用。

昭48．４．１　大磯町危険物安全協会発足。

昭48．８．13　第23回県消防操法大会に第４分団が小型動力ポンプの部に出場。消防署も応用操法の部に出場､模範演技を披露。

昭48．９．20　小型動力ポンプ購入、第２分団に配置。

昭48．10．27　消防庁舎起工式。(大磯1,075番地)

昭48．11．20　積載車 (ニッサンジュニア 1,600cc)購入、第３分団に配置。

昭48．11．28　消防ポンプ自動車 (ニッサンパトロール 3,956cc)購入、第５分団に配置。

昭49．３．31　一斉指令装置設置。

昭49．８．５　消防庁舎竣工。大磯992番地の旧庁舎から大磯1,075番地の新消防庁舎[鉄筋コンクリート造り３階建(1,384.96㎡)]に移転し業務開始。

昭49．８．９　地震対策用ろ水機購入。

昭49．10．17　小型動力ポンプ２台購入、第３分団、第10分団に配置。

昭50．３．４　消防庁長官から竿頭綬(かんとうじゅ)を拝受。

昭50．４．１　消防本部、署職員１名採用。

昭50．５．１	消防署高圧ガス危害予防規程制定。
昭50．５．15	広報車（ニッサンブルーバード 1,600cc)購入、消防署に配置。
昭50．６．５	一般高圧ガス、圧縮空気製造施設設置。
昭50．７．25	神奈川県下消防相互応援協定書に調印。
昭50．８．11	第25回県消防操法大会、第３分団が小型動力ポンプの部に出場。消防署も応用操法の部に出場、模範演技を披露。
昭50．８．18	小型動力ポンプ２台購入、第７分団、第８分団に配置。
昭50．12．10	消防ポンプ自動車（ニッサンパトロール 3,956cc)購入、消防署に配置。
昭51．11．26	小型動力ポンプ２台購入、第４分団、第９分団に配置。
昭51．11．29	超短波無線（移動局）３基購入。
昭52．４．１	消防本部、署職員１名採用。
昭52．８．８	第27回県消防操法大会に、第５分団が自動車ポンプの部に出場。
昭52．10．８	定数条例の改正。消防職員28名。
昭52．11．14	日本損害保険協会から救急自動車受贈、消防署に配置。
昭53．４．１	消防本部、署職員３名採用。
昭54．４．１	テレオートガイド装置設置、防災(スポット)テレホンサービス開始。
昭54．６．26	旧吉田首相私邸で日米首脳会談が開催され警備にあたる。
昭54．８．10	第29回県消防操法大会に、第６分団が自動車ポンプの部に出場。
昭54．10．１	定数条例の改正、消防職員30人。消防本部、署の組織の一部改正により本部では従来の庶務、予防、警備の３係に加えて企画係を新設。署では従来の当直隊の呼称を甲隊、乙隊から警防第１係、警防第２係に改正。
昭54．10．19	台風20号の影響で町内各所に被害が続出し、町役場に災害対策本部を設置。
昭55．３．26	消防ポンプ自動車（ニッサンパトロール 3,950cc)購入、第11分団に配置。
昭55．４．１	消防本部、署職員２名採用。
昭55．７．９	軽指令車（三菱 540cc)購入、消防署に配置。
昭55．８．12	小型動力ポンプ３台購入、第５分団、第11分団、第12分団に配置。
昭55．10．13	第１回消防団員家族慰安旅行(山梨県)を実施。
昭55．10．16	第12分団詰所新築。
昭56．４．１	消防本部、署職員１名採用。
昭56．７．22	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車受贈、消防署に配置。
昭56．８．７	第31回県消防操法大会に、第７分団が小型動力ポンプの部に出場。
昭56．12．８	小型動力ポンプ３台購入、消防署、第１分団、第６分団に配置。
昭57．１．29	救急自動車（トヨタ 1,960cc)購入、消防署に配置。
昭57．３．31	大磯町消防職員の任用に関する規定を廃止。
昭57．８．６	日本消防協会から広報車(三菱ギャラン 1,600cc)受贈、消防署に配置。
昭57．12．８	小型動力ポンプ購入、消防署に配置。
昭58．３．１	消防本部、署職員１名採用。
昭58．３．２	消防庁長官から表彰旗を拝受。
昭58．３．15	水槽付消防ポンプ自動車（日野KFD 6,443cc)購入、消防署に配置。
昭58．３．25	第11分団詰所新築。(町立図書館に併設)
昭58．５．26	国府地区(二宮局)の119番が大磯町と二宮町で同時に受信できるマルチ方式となった。
昭58．８．３	第33回県消防操法大会に、第８分団が小型動力ポンプの部に出場。
昭58．８．19	日本消防協会から軽可搬ポンプ４台受贈、北下町,東町,神明町,月京の婦人防火クラブに配置。
昭58．12．３	消防ポンプ自動車（ニッサンパトロール 3,950cc)購入、第12分団に配置。
昭58．12．18	第１分団詰所新築。
昭59．６．25	指令車（ニッサンセドリック 2,000cc)購入、消防署に配置。

昭59．８．８　日本消防協会から緊急用ろ水機受贈、消防署に配置。
昭59.12．２　小型動力ポンプ付積載車(ニッサンアトラス 1,600cc)購入、第２分団に配置。
昭60．１．１　消防署安全管理規程及び訓練時安全管理要綱制定。
昭60．３．20　第10分団詰所新築。
昭60．４．１　消防本部、署職員２名採用。
昭60．６．５　大磯町消防通信規程及び大磯町消防超短波無線局運用規程制定。
昭60．９．30　小型動力ポンプ購入、消防署に配置。
昭60.10.30　小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,600cc）２台購入、第４分団、第７分団に配置。
昭60.11.28　第７分団詰所新築。
昭61．２．２　一斉指令装置更新。
昭61．３．４　日本損害保険協会から救急自動車(トヨタ 1,990cc)受贈、消防署に配置。大磯ロータリークラブから救急資器材受贈。
昭61．８．１　第35回県消防操法大会に第９分団が小型動力ポンプの部に出場。
昭61.10.29　超短波無線(移動局)１基更新。
昭61.11．７　小型動力ポンプ付積載車(ニッサンアトラス 1,600cc)２台購入、第９分団、第10分団に配置。
昭61.12.10　消防ポンプ自動車（三菱キャンター 3,560cc)購入、消防署に配置。
昭61.12.25　第９分団詰所新築。
昭62．４．１　消防本部、署職員１名採用。
昭62．８．25　防災資機材運搬車（ホンダTNアクティ 545cc)購入、消防署に配置。
昭62．９．１　超短波無線(移動局)１基更新。
昭62.10．１　大磯町非常勤消防団員等公務災害補償規定廃止。大磯町消防団員等に係る公務災害補償のうち休業補償を行わない場合を定める規則を制定。
昭62.10.20　小型動力ポンプ付積載車(ニッサンアトラス 1,600cc)２台購入、第３分団、第８分団に配置。
昭62.11．１　大磯町消防通信規程、大磯町消防超短波無線局運用規程廃止。新たに大磯町消防無線局管理運用規程を制定。
昭63．２．17　119番(大磯局)１回線増設。
昭63．２．23　超短波無線(救急波)１基整備。
昭63．３．26　第８分団詰所新築。
昭63．９．19　超短波無線(移動局)１基購入。
昭63.10．１　定数条例の改正、消防職員35名。
昭63.11.22　15ｍはしご付消防ポンプ自動車(いすゞR-FRR12DAL改良型 6,494cc)購入、消防署に配置。
平元．１．25　消防ポンプ自動車（ニッサンサファリー 4,160cc)購入、第６分団に配置。
平元．４．１　消防本部、署職員２名採用。消防署の組織に関する規程の一部を改正、救助第１係、救助第２係を設置。
平元．７．７　第14回県下消防救助技術指導会に初出場。
平元．９．29　消防ポンプ自動車（ニッサンサファリー 4,160cc)購入、第１分団に配置。
平元.11.18　救急自動車（トヨタ 1,990cc)購入、消防署に配置。
平２．２．14　日本消防協会から竿頭綬(かんとうじゅ)を拝受。
平２．４．１　消防本部、署職員２名採用。
平２．７．26　第37回県消防操法大会に第10分団が小型動力ポンプの部に出場。
平２．９．28　消防広報車（トヨタライトエースワゴン 1,990cc)購入、消防署に配置。
平２．９．30　台風20号の影響で町内各所、特に西部地区に被害が続出し、町役場に災害対策本部を設置。
平２.11．８　消防ポンプ自動車（ニッサンサファリー 4,160cc)購入、第５分団に配置。
平３．２．26　地図検索装置設置。
平３．４．１　消防本部、署職員２名採用。

平３．６．28　消防団車載用携帯受令機12基購入。

平３．８．20　消防庁舎耐震診断終了。

平３．９．19　台風18号の影響で町内各所、特に西部地区に被害が続出。

平４．２．25　救助工作車（日野U-FD3HEAA改良型 7,412cc)購入、消防署に配置。

平４．２．28　超短波無線(移動局)１基購入。

平４．３．20　第５分団詰所新築。

平４．３．25　第４分団詰所(西小磯防災館併設)新築。

平４．３．31　第６分団詰所(国府新宿福祉館併設)新築。

平４．４．１　消防本部、署の組織の一部改正。本部に庶務課、警防課を設置し、署に通信第１係、通信第２係を設置。

平４．７．24　日本消防協会から軽可搬ポンプ１台受贈。

平４．９．１　第１回消防団親睦綱引き大会実施。

平４．９．26　定数条例の改正、消防職員40名。

平５．４．１　消防本部、署職員２名採用。

平５．９．６　日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車(日産U-CM87EE改良型 6,925cc)受贈、消防署に配置。

平５．12．31　消防庁舎耐震工事完成。

平６．２．23　第２分団詰所新築。

平６．４．１　消防本部、署職員２名採用。

平６．７．22　第23回消防救助技術関東地区指導会（埼玉県大宮市）に陸上の部（ほふく救出）で初出場。

平６．７．28　第39回県消防操法大会に第11分団が自動車ポンプの部に出場。

平６．８．25　第23回全国消防救助技術大会（京都市）に陸上の部（ほふく救出）で初出場。

平６．11．28　救急救命士１名養成。

平７．１．19　兵庫県南部地震の救助救援活動のため、職員を６日間、延べ４名を派遣。

平７．２．16　消防ポンプ自動車（ニッサンサファリー 4,160cc)購入、第11分団に配置。

平７．３．15　第３分団詰所新築。

平７．４．１　消防本部、署職員２名採用。

平７．６．７　定数条例の改正、消防職員45名。

平７．７．26　神奈川県・大磯町合同津波対策訓練実施。

平７．10．17　第12分団詰所新築。

平７．10．30　緊急消防援助隊に消火部隊として１隊を消防庁に登録。県外応援可能隊として組織。

平７．11．６　長野県小諸市と姉妹都市災害時相互支援協定を締結。

平８．２．29　高規格救急自動車（トヨタハイエース 3,960cc)購入、本署に配置。

平８．３．28　消防ポンプ自動車（いすゞエルフ 4,570cc)購入、国府分署に配置。

平８．４．１　大磯町消防署国府分署(国府支所に併設)開署、職員11名を配置。消防本部、署職員２名採用。

平８．４．１　大型街頭消火器設置、維持管理業務が町防災対策担当から移管される。

平８．４．１　大磯町消防団災害安全対策交付金要綱制定。

平８．４．25　救急救命士１名養成。

平８．８．21　湘南地区災害時職員相互派遣に関する協定を締結。

平８．10．１　大磯町消防本部消防職員委員会発足。同委員会に関する規則を制定。

平８．11．17　平塚市、大磯町、二宮町の災害時相互協力に関する協定を締結。

平８．11．28　消防団に専用無線を配備。

平９．２．11　重油回収作業に福井県三国町へ職員を派遣。

平９．３．26　神奈川県消防協会から竿頭綬（かんとうじゅ）を拝受。

平９．３．26　防災資機材運搬車（ホンダアクティトラック4WD 656cc）購入、国府分署に配置。

平９．４．１	消防本部、署職員２名採用。実員44名。
平９．５．12	救急救命士１名養成。
平９．５．24	北海道江差町と災害時相互応援協定を締結。
平９．12．８	救急救命士１名養成。
平10．３．18	日本消防協会から指令車(ニッサンブルーバード 1,800cc)受贈、消防署に配置。
平10．７．29	第41回県消防操法大会に第12分団が自動車ポンプの部に出場。
平10．11．18	長野県山口村と災害時相互支援協定を締結。
平10．10．28	救急自動車（ニッサンキャラバン 2,960cc）購入、国府分署に配置。
平11．８．19	山北町玄倉川の救助救援活動のため、職員を２日間 、延べ15名を派遣。
平11．10．１	消防本部、署の組織の一部改正、本部の庶務係、企画係を消防総務課総務企画班に､予防係を予防保安班に改正。署の当直隊警防第１係、警防第２係を第１消防隊、第２消防隊に改正。
平12．７．14	第29消防救助技術関東地区指導会（埼玉県戸田市）に陸上の部（ほふく救出）で出場。
平12．８．18	第29回全国消防救助技術大会（熊本県）に陸上の部（ほふく救出）で出場。
平12．12．４	救急救命士１名養成。
平13．３．16	消防ポンプ自動車（いすゞエルフ4,570cc）購入、本署に配置。
平13．４．１	消防本部、署職員１名採用。実員42名。
平13．７．６	第30回消防救助技術関東地区指導会（東京都江東区）に陸上の部（ほふく救出）で出場。
平13．８．24	防災資機材運搬車（ホンダアクティトラック 656cc）購入、消防署に配置。
平13．10．16	小型動力ポンプ購入、消防署に配置。
平14．２．８	日本消防協会から表彰旗を拝受。
平14．３．29	消防庁、日本自動車工業会から高規格救急自動車（トヨタハイメディック 3,378cc）を受贈し、国府分署に配置。
平14．４．１	消防本部、署職員２名採用。実員44名。
平14．４．１	大磯町女性防火クラブ設立、定員16名。
平14．５．８	救急救命士１名養成。
平14．７．19	第31回消防救助技術関東地区指導会（千葉県千葉市）に陸上の部（ほふく救出）で出場。
平14．７．24	第43回県消防操法大会に第１分団が自動車ポンプの部に出場。（優良賞）
平15．１．17	救急救命士１名養成。
平15．４．１	消防本部、署職員２名採用（うち１名救急救命士）。実員44名。
平15．５．14	救急救命士１名養成。
平15．11．19	救急救命士１名養成。
平16．５．24	救急救命士１名養成。
平16．12．17	救急救命士１名養成。
平17．４．１	消防本部、署職員２名採用。実員42名。
平17．７．26	第34回消防救助技術関東地区指導会（埼玉県さいたま市）に陸上の部（ほふく救出）で出場。
平17．12．５	救急救命士１名養成。
平18．７．20	第35回消防救助技術関東地区指導会（神奈川県横浜市）に水上の部（基本泳法）で出場。
平18．７．26	第45回県消防操法大会に第２・３分団合同で小型ポンプ操法の部に出場。（優良賞）
平19．３．27	救助工作車（日野レンジャー 6,403cc）更新、本署に配置。
平19．４．１	消防本部、署職員４名採用（うち１名救急救命士）。
平19．11．21	高規格救急自動車（トヨタハイメディック 2,693cc）更新、本署に配置。
平20．４．１	消防本部、署職員４名採用（うち１名救急救命士）実員43名。
平20．７．20	第37回消防救助技術関東地区指導会（千葉県千葉市）に水上の部（基本泳法・複合検索）で出場。
平20．10．10	小型動力ポンプ付積載車(ニッサンアトラス 1,998cc)購入、第12分団に配置。
平21．１．27	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（日野レンジャー 6,403cc）更新、本署に配置。

平21.３.22	旧吉田茂邸が火災により焼失。
平21.４.１	消防本部、署職員３名採用。実員45名。
平21.４.１	消防本部の組織に関する規則の一部改正を行い、第１消防隊、救急救助第１隊を本署第１隊に、第２消防隊、救急救助第２隊を本署第２隊に改めた。
平21.７.23	第38回消防救助技術関東地区指導会（神奈川県横浜市）に水上の部（基本泳法・複合検索）で出場。
平21.９.28	消防指揮車（ニッサンセレナ　1997cc）購入、本署に配置。
平21.10.26	小型動力ポンプ付積載車(ニッサンアトラス 1,998cc)購入、第２分団に配置。
平22.１.13	消防ポンプ自動車（イスズエルフ　2,999cc）更新、分署に配置。
平22.１.28	防災活動車（日産クリッパー　650cc）寄贈、本署に配置。
平22.３.１	高規格救急自動車（ニッサンパラメディック　3,498cc）更新、分署に配置。
平22.３.19	小型動力ポンプ付積載車(ニッサンアトラス 1,998cc)購入、第11分団に配置。
平22.３.29	日本消防協会から竿頭綬(かんとうじゅ)を拝受。
平22.４.１	消防本部、署職員１名採用。実員44名。
平22.４.22	救急救命士１名養成。
平22.７.27	第47回神奈川県消防操法大会に第４分団が小型ポンプ操法の部に出場。
平22.11.17	小型動力ポンプ付積載車(ニッサンアトラス 1,998cc)２台購入、第４分団、第７分団に配置。
平23.３.14	東北地方太平洋沖地震発生に伴い、緊急消防援助隊神奈川県隊消火部隊第１陣として宮城県に職員６名を５日間派遣。
平23.３.19	東北地方太平洋沖地震発生に伴い、緊急消防援助隊神奈川県隊救急部隊第２陣として福島県に職員５名３日間を派遣。
平23.５.12	東北地方太平洋沖地震発生に伴い、緊急消防援助隊神奈川県隊救急部隊第３陣として福島県に職員２名を５日間派遣。
平24.５.１	消防本部の組織に関する規則の改正を行い、消防総務課企画班を消防総務課消防総務係に、消防総務課予防保安班を消防総務課予防係に改めた。
平24.５.29	消防団デジタル簡易無線運用開始。
平24.７.６	第41回消防救助技術関東地区指導会（東京都）に水上の部（複合検索）で出場。
平25.４.１	消防本部、署職員３名採用。実員44名。
平25.７.23	第42回消防救助技術関東地区指導会（神奈川県横浜市）に水上の部（複合検索）で出場。
平25.８.22	第42回全国消防救助技術大会（広島県広島市）に水上の部（複合検索）で出場。
平26.１.８	小型動力ポンプ付積載車(ニッサンアトラス 1,998cc)１台購入、第10分団に配置。
平26.３.19	小型動力ポンプ付積載車(いすゞエルフ2,999cc)１台総務省消防庁より無償貸付を受け、第９分団に配置。
平26.４.１	消防本部、署職員３名採用。実員44名。
平26.７.30	第49回神奈川県消防操法大会に第５分団が小型ポンプ操法の部に出場。
平26.７.31	第42回消防救助技術関東地区指導会（千葉県）に水上の部（溺者救助）で出場。
平26.11.４	消防団の組織等に関する規則の一部の改正を行い、消防分団（第６分団、第12分団）の受持ち区域を一部改めた。
平26.12.23	小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）１台購入、第８分団に配置。
平27.４.１	消防本部、署職員１名採用。実員45名。
平27.４.１	消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の改正を行い、消防団員定数を183名から184名に改めた。
平27.10.17	小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）１台購入、第３分団に配置。
平27.10.17	小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）１台購入、第６分団に配置。
平27.11.８	埼玉県日高市と災害時相互応援協定を締結
平27.12.１	消防救急デジタル無線運用開始。
平28.４.20	救急救命士１名養成。（運用救急救命士数12名）

平28.10.30	小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）１台購入、第１分団に配置。
平28.10.30	小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）１台購入、第５分団に配置。
平29.４.１	平塚市・大磯町・二宮町共同消防指令センター運用開始
平29.４.１	定数条例の改正を行い、消防職員定数を45名から50名に改めた。
平29.４.１	消防本部、署職員１名採用。実員45名。
平29.７.14	第46回消防救助技術関東地区指導会（静岡県）に水上の部（溺者救助）で出場。
平29.12.６	消防ポンプ自動車（日野デュトロ　4,000cc）更新、本署に配置。
平30.４.１	消防本部、署で初となる女性職員２名採用。実員46名。
平30.７.25	第51回神奈川県消防操法大会に第６分団が小型ポンプ操法の部に出場。
平30.11.26	消防庁舎の一部を改修し女性専用施設の整備が完了。
平31.１.30	高規格救急自動車（日産パラメディック　2,488CC）更新、本署に配備。
平31.３.28	神奈川県消防協会から竿頭綬（かんとうじゅ）を拝受。
平31.４.１	消防本部、署職員２名採用。実員46名。
平31.４.９	救急救命士１名養成。
令１.11.９	神奈川県津波対策訓練
令２.３.４	日本消防協会から竿頭綬（かんとうじゅ）を拝受。

消防の概要

歴代消防長

代別	氏 名	就 任、退 任 年 月 日	備 考
初代	豊田 由登	昭和43年4月1日 ～ 昭和45年10月1日	助役兼務
２代	望月 止戈郎	昭和46年6月18日 ～ 昭和49年12月10日	助役兼務
３代	小田島 藤雄	昭和49年12月21日 ～ 昭和53年12月20日	助役兼務
４代	秋本 芳男	昭和54年6月1日 ～ 昭和61年3月31日	
５代	原田 早苗	昭和61年4月1日 ～ 平成6年3月31日	
６代	坂田 吉徳	平成6年4月1日 ～ 平成6年8月11日	
７代	古正 直治	平成6年8月12日 ～ 平成7年3月31日	助役兼務
８代	小嶋 健二	平成7年4月1日 ～ 平成11年9月30日	
９代	小清水 重雄	平成11年10月1日 ～ 平成15年3月31日	
10代	三好 正則	平成15年4月1日 ～ 平成15年9月30日	
11代	仲出川 松雄	平成15年10月1日 ～ 平成17年3月31日	
12代	今井 正	平成17年4月1日 ～ 平成20年3月31日	
13代	穂坂 優	平成20年4月1日 ～ 平成21年3月31日	
14代	二宮 栄治	平成21年4月1日 ～ 平成26年3月31日	
15代	和田　勝巳	平成26年4月1日 ～ 平成29年3月31日	
16代	岩本　清嗣	平成29年4月1日 ～ 令和2年3月31日	
17代	仲手川　孝	令和2年4月1日 ～	

歴代消防団長

代別	氏 名	就 任、 退 任 年 月 日	備 考
初代	曽根田 恭男	昭和30年6月1日 ～ 昭和32年3月31日	町長兼務
２代	湯井 秀雄	昭和32年4月1日 ～ 昭和36年3月31日	
３代	齋藤 榮一	昭和36年4月1日 ～ 昭和63年3月31日	
４代	伊藤 利雄	昭和63年4月1日 ～ 平成3年3月31日	
５代	二宮 喜代司	平成3年4月1日 ～ 平成11年3月31日	
６代	田邉 邦雄	平成11年4月1日 ～ 平成15年3月31日	
７代	杉﨑 英雄	平成15年4月1日 ～ 平成27年3月31日	
８代	奥野　和夫	平成27年4月1日 ～	

消防庁舎の現況

【消防本部・署庁舎】

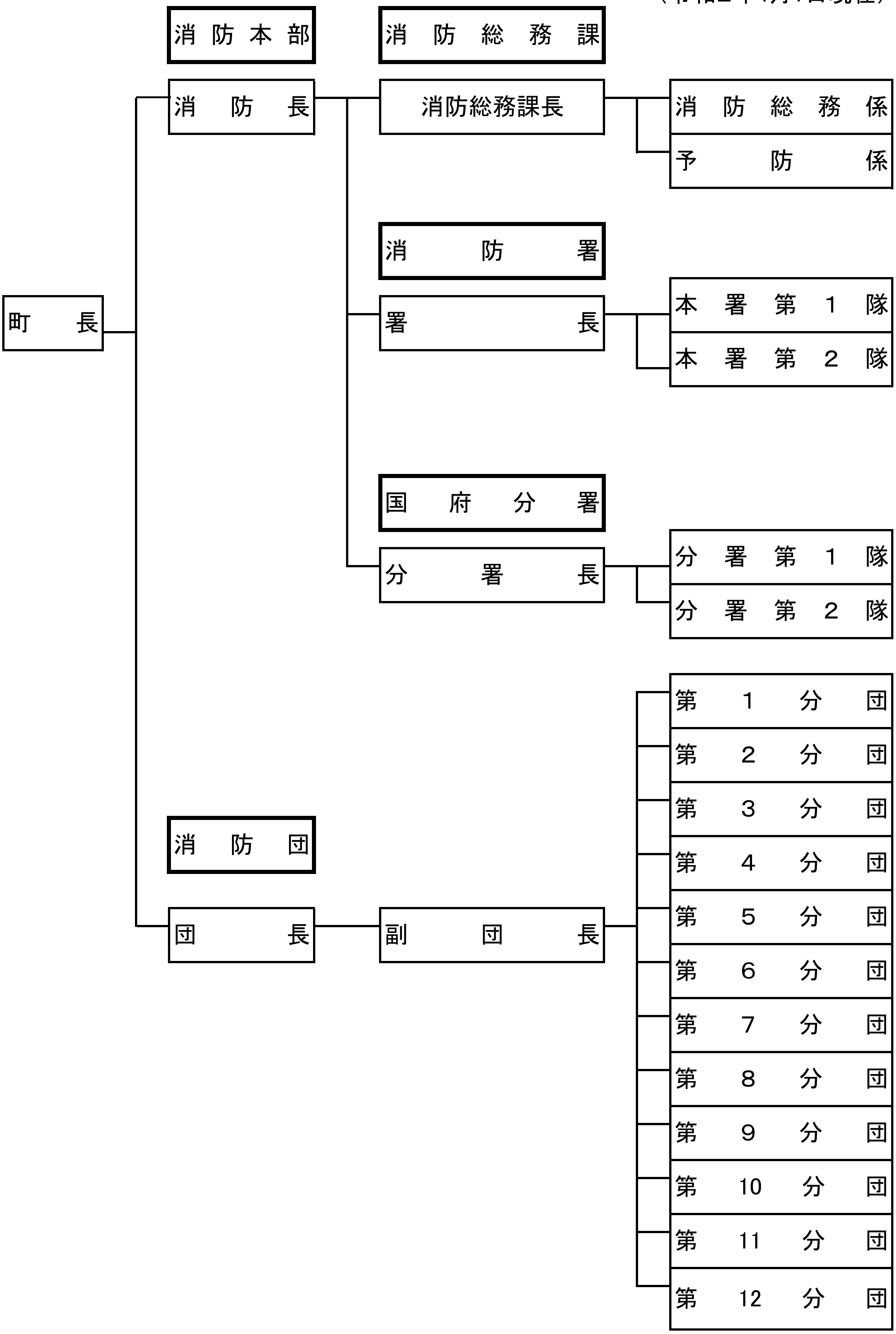
所 在 地	神奈川県中郡大磯町大磯1075番地
構　　造	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) ４階建
敷地面積	815.62 ㎡
建築面積	495.16 ㎡
延べ面積	1,384.96 ㎡
１　階	320.22 ㎡
２　階	486.16 ㎡
３　階	486.16 ㎡
屋上階	92.42 ㎡
竣工年月日	昭和49年８月５日

【国府分署】

所 在 地	神奈川県中郡大磯町月京６番地10号
構　　造	鉄骨造
敷地面積	246.41 ㎡（全体敷地　1,182.36㎡）
建築面積	246.41 ㎡
竣工年月日	平成８年７月15日（西部地区防災施設整備工事全体工期）

消防機構図

（令和２年4月1日現在）



消防本部・署事務分掌

（令和２年4月1日現在）

［ 消防本部 ］

消防総務課

消防総務係　予防係

（１）公印の管理に関すること。
（２）消防職員の任免、賞罰、服務及びその他身分に関すること。
（３）消防職員の給与及び旅費等諸手当に関すること。
（４）消防職員の労働安全衛生に関すること。
（５）消防職員の公務災害補償及び償慰に関すること。
（６）消防庁舎の維持管理及び物品の購入に関すること。
（７）条例、規則等の制定及び改廃に関すること。
（８）消防職員の褒賞及び表彰に関ること。
（９）消防職員委員会に関すること。
（10）消防長会に関すること。
（11）その他部局の庶務に関すること。
（12）消防業務の企画及び調査に関すること。
（13）消防組織制度及び事務改善に関すること。
（14）広報及び統計に関すること。
（15）消防団員の任免、服務及びその他身分に関すること。
（16）消防団員の報酬等に関すること。
（17）消防団員等の公務災害補償及び償慰に関すること。
（18）消防団詰所の維持管理及び物品の購入に関すること。
（19）火災予防の計画に関すること。
（20）防火管理者の育成、指導に関すること。
（21）消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
（22）火災予防思想の普及、啓発に関すること。
（23）建築確認の同意事務に関すること。
（24）防火対象物の火災予防査察及び指導並びに防火対象物点検報告制度に関すること。
（25）大磯町火災予防条例（昭和37年３月大磯町条例18号）に基づく届出（消防署で処理するものを除く。）の処理に関すること。
（26）火災予防関係団体の育成、指導に関すること。
（27）火災予防及び危険物の統計に関すること。
（28）危険物製造所等の許認可事務に関すること。
（29）危険物製造等の火災予防査察及び指導に関すること。
（30）危険物の貯蔵、取り扱い及び運搬の指導に関すること。
（31）危険物保安監督者及び危険物取扱者等の育成、指導に関すること。
（32）その他火災予防に関すること。

［ 消 防 署 ］

本署第１隊、本署第２隊
第１消防救助隊、第２消防救助隊
（１） 水火災又は災害等の警戒及び防ぎょに関すること。
（２） 水火災等の防ぎょ計画の策定に関すること。
（３） 消防地理及び消防水利の調査、維持管理に関すること。
（４） 防火対象物の警防調査、警防計画に関すること。
（５） 消防車両等の購入及び整備に関すること。
（６） 消防機械器具及び資機材等の維持管理に関すること。
（７） 火災原因及び損害調査並びに消防諸証明に関すること。
（８） 火災、救助その他の災害出動及び災害の情報収集に関すること。
（９） 火災、救助、災害等の伝達並びに広報活動に関すること。
(10) 枯草及び空家等の火災予防対策に関すること。
(11) 消防活動に支障を及ぼす行為等の届出に関すること。
(12) 消防活動、救助活動及び訓練の技術並びに計画に関すること。
(13) 水難救助活動に関すること。
(14) 通信業務に関すること。
(15) 消防、救助等の指令及び無線通信に関すること。
(16) 消防通信機器の点検、整備に関すること。
(17) 消防総合気象観測に関すること。
(18) その他消防活動及び救助活動に関すること。
第１救急隊、第２救急隊
（１） 救急活動及び訓練の技術並びに計画に関すること。
（２） 救急出動及び情報収集に関すること。
（３） 救急の伝達及び広報活動に関すること。
（４） その他救急活動に関すること。

［ 国府分署 ］
分署第１隊、分署第２隊
（１） 水火災又は災害等の警戒、防ぎょ及び人命救助に関すること。
（２） 水火災等の防ぎょ計画の策定に関すること。
（３） 救急救助活動及び消防訓練の技術並びに計画に関すること。
（４） 救急救助等の出動及び情報収集に関すること。
（５） 救急救助等の伝達及び広報活動に関すること。
（６） 消防地理及び消防水利の調査、維持管理に関すること。
（７） 防火対象物の警防調査、警防計画に関すること。
（８） 消防機械器具及び資機材の維持管理に関すること。
（９） 火災原因及び損害調査に関すること。
(10) 火災、その他の災害出動及び災害の情報収集に関すること。
(11) 火災及び災害等の伝達並びに広報活動に関すること。
(12) 枯草及び空家等の火災予防対策に関すること。
(13) 消防活動に支障を及ぼす行為等の届出に関すること。
(14) その他消防活動に関すること。

消防本部・署の現勢

（令和２年4月1日現在）

大磯町消防本部･消防署 設置年月日	昭和43年4月1日	
国府分署 設置年月日	平成8年4月1日	
管轄地区（大磯町全域）	面積	17.232k㎡
	人口	31,131人
	世帯数	12,659世帯
消防職員数	定員　50人	実員　43人
配置人員	本部・署　34人	分署　９人

配置車両・無線局	本　　署	分　　署
水槽付消防ポンプ自動車	１　台	＼
普通消防ポンプ自動車	１　台	１　台
救助工作車	１　台	＼
小型動力ポンプ	６　台	１　台
高規格救急車	２　台	１　台
指揮車	１　台	＼
防災資機材運搬車	２　台	＼
防災活動車	１　台	＼
基地局(20W)(ﾃﾞｼﾞﾀﾙ主運用波)	１　基	＼
基地局(20W)(ﾃﾞｼﾞﾀﾙ消防波)	１　基	＼
基地局(20W)(ﾃﾞｼﾞﾀﾙ救急波)	１　基	＼
基地局(20W)(ﾃﾞｼﾞﾀﾙ統制波)	３　基	＼
陸上移動局(５W)(ﾃﾞｼﾞﾀﾙ車載型)	10　基	２　基
陸上移動局(２W)(ﾃﾞｼﾞﾀﾙ携帯型)	７　基	２　基
陸上移動局(５W)(ﾃﾞｼﾞﾀﾙ卓上型)	１　基	１　基
陸上移動局(１W)(署活型)	12　基	５　基

常備消防力の基準と現有消防力の比較

（令和2年4月1日現在）

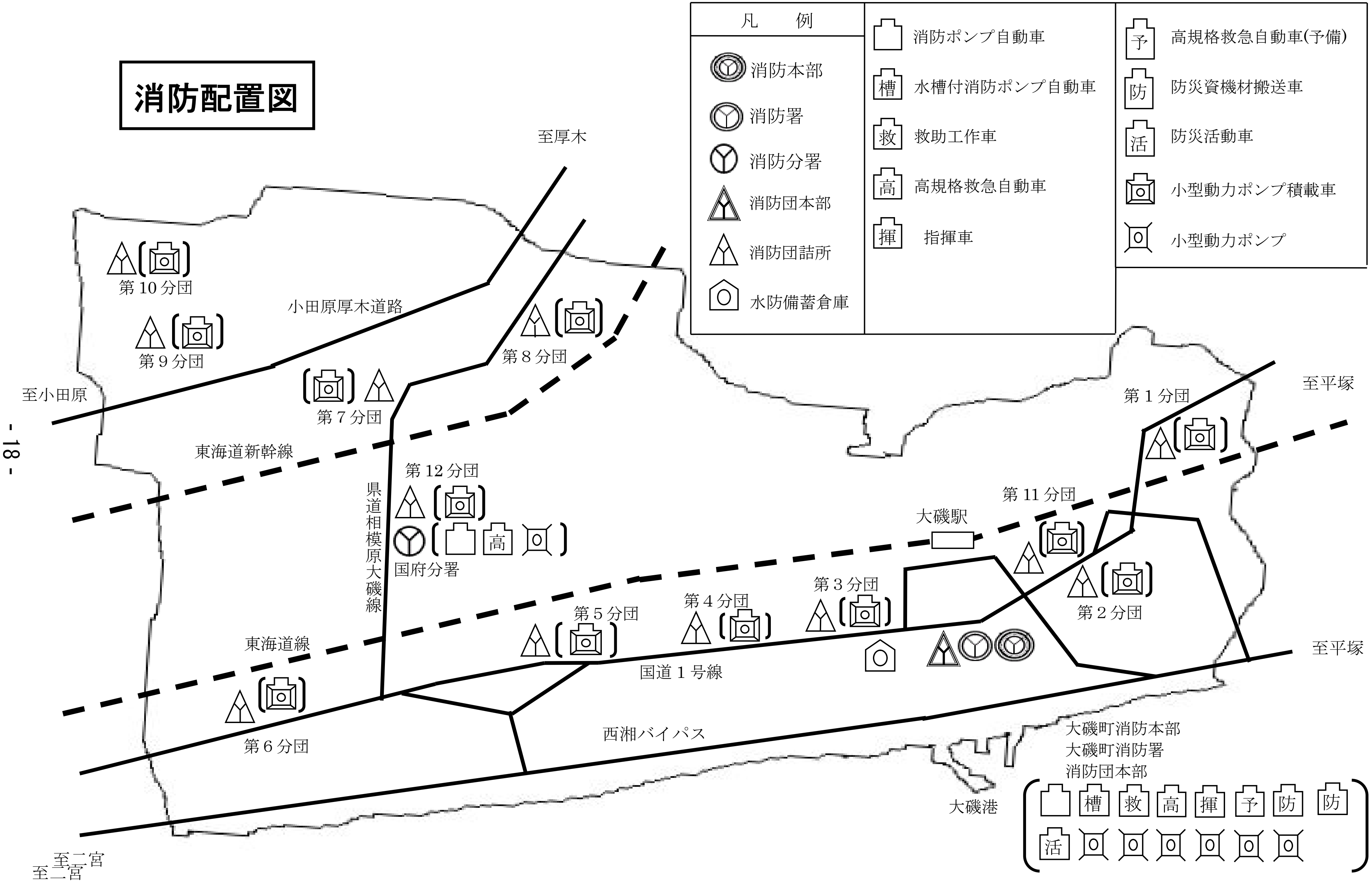
区分／要因	整備数（台）	算定数（人）	現有数（人）	算定数と比較した現有数に対する不足数（人）
署所（第４条）	2			
消防ポンプ自動車（第５・27条）	3	37	33	43
はしご自動車（第７・27条）				
化学消防車（第８・９・10・27条）				
その他特殊車等（第16・27条）				
救急自動車（第13・28条）	2	17		
救助工作車（第14・29条）	1	14		
指揮車（第15・30条）	1	8		
小　　計	7	76	33	43
通信員（第31条）		3	3	
予防要員（第32条）		3	1	2
庶務の処理等の人員（第34条）		9	6	3
合　　計	7	91	43	48

※　算定数の算出根拠及び表内の条数は「消防力の整備指針」（平成12年１月消防庁告示第１号）によるものです。

※　予防要員の現有数は、専任の予防要員が１名という意味で表記してあるもので、予防要員と隊員を兼務する職員は計上していません。

※　庶務の処理等の人員は、専任の職員6名となっています。

消防配置図


凡　例
消防本部
消防署
消防分署
消防団本部
消防団詰所
水防備蓄倉庫
消防ポンプ自動車
槽 水槽付消防ポンプ自動車
救 救助工作車
高 高規格救急自動車
揮 指揮車
予 高規格救急自動車(予備)
防 防災資機材搬送車
活 防災活動車
小型動力ポンプ積載車
小型動力ポンプ
至厚木
至小田原
至平塚
至平塚
至二宮
至二宮
小田原厚木道路
東海道新幹線
東海道線
国道１号線
西湘バイパス
県道相模原大磯線
大磯駅
大磯港
第１分団
第２分団
第３分団
第４分団
第５分団
第６分団
第７分団
第８分団
第９分団
第 10 分団
第 11 分団
第 12 分団
国府分署
高
大磯町消防本部
大磯町消防署
消防団本部
槽
救
高
揮
予
防
防
活

消防本部・署現有車両機械状況

（令和2年4月1日現在）

車両別	車名 型式	登　録 年月日	配置 場所	無線局の 呼出符号	総排気量 又は定格 出力(L)	ポ　ン　プ		
						社名	型式	級別
水槽付消防ポンプ自動車	日野 BDG- GX7JGWA改	平成21年 1月27日	本署	おおいそ１	6.40	日本 ドライケミカル 株式会社	ND2A	Ａ－２
消防ポンプ 自動車	日野 TKG- XZU685M	平成29年 11月10日	本署	おおいそ５	4.00	長野ポンプ 株式会社	NF75	Ａ－２
消防ポンプ 自動車	いすゞ BKG-NMR 85N	平成22年 1月13日	国府 分署	こくふ１	2.99	日本 機械工業 株式会社	R-3 (BC)	Ａ－２
高規格救急自動車	ニッサン CBF-CS８ E26改	平成31年 1月21日	本署	おおいそ きゅうきゅう 1	2.48			
高規格救急自動車	ニッサン CBF-FPGE 50改	平成22年 3月1日	国府 分署	おおいそ きゅうきゅう ２	3.49			
高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH 221S - QFPDK	平成19年 11月9日	本署	おおいそ きゅうきゅう ３	2.69			
救助工作車	日野 ADG- GD7JGWA改	平成19年 3月27日	本署	おおいそ きゅうじょ1	6.40			
指揮車	ニッサン DBA-C25	平成21年 9月28日	本署	おおいそ しき1	1.99			
防災資機材 運搬車	ホンダ GD-HA7	平成13年 8月24日	本署	おおいそ４	0.65			
防災資機材 運搬車	ホンダ V-HA4	平成9年 3月21日	本署	おおいそ３	0.65			
防災活動車	ニッサン GBD-U72V	平成22年 1月28日	本署	おおいそ２	0.65			
小型動力ポンプ		平成13年 10月16日	本署			トーハツ 株式会社	VC62A	Ｂ－３
小型動力ポンプ		昭和59年 11月30日	本署			トーハツ 株式会社	V38BS	Ｂ－３
小型動力ポンプ		昭和56年 12月2日	本署			トーハツ 株式会社	V30AS	Ｂ－３
小型動力ポンプ		昭和55年 8月6日	本署			トーハツ 株式会社	V38AS	Ｂ－３
小型動力ポンプ		昭和55年 8月6日	本署			トーハツ 株式会社	V38AS	Ｂ－３
小型動力ポンプ		昭和62年 10月20日	本署			トーハツ 株式会社	V38C	Ｂ－３
小型動力ポンプ		昭和60年 9月30日	分署			トーハツ 株式会社	V38CS	Ｂ－３

機械器具等

（令和2年4月1日現在）

消防用

分類	機械器具名	数量	分類	機械器具名	数量
測定用器具	炭化深度計	2	測定用器具	北川式検知器	1

救急用

分類	機械器具名	数量	分類	機械器具名	数量
救急用器具	バックボード	5	救急用器具	紫外線殺菌ロッカー	1
	半自動式除細動器	4		心肺蘇生訓練用人形	24
	除菌用オゾン発生器	2		気管内挿管訓練用人形	1
				特定行為訓練用人形	3
				ＡＥＤトレーニングユニット	6

救助用

分類	機械器具名	数量	分類	機械器具名	数量
一般救助用器具	かぎ付きはしご	4	隊員保護用器具	耐電手袋	5
	三連はしご	5		耐電衣	2
	折りたたみはしご	2		耐電ズボン	2
	ワイヤーはしご	1		耐電長靴	2
	救命索発射銃	1		防塵メガネ	9
	サバイバースリング及び救助用縛帯	5		携帯警報器	13
	平担架	2		防毒マスク	20
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1		化学防護服(陽圧式含)	20
	油圧スプレッダー(エナパック含)	2		防毒衣（一式）	2
	可搬ウィンチ	2			
	マンホール救助器具	1			
	マット型空気ジャッキ(一式)	1	水難救助用器具	潜水器具	6
	電動吊下型ウインチ	1		救命胴衣	31
切断用器具	油圧切断機	2		水中投光器	2
	エンジンカッター	5		救命浮環	7
	ガス溶断器	1		救命ボート	1
	チェーンソー	4		船外機	2
	鉄線カッター	15		レスキューチューブ	1
	空気鋸	1		レスキューボード	1
破壊用器具	万能斧	7		水上バイク	1
	ハンマー	1	山岳救助用器具	登山器具一式	1
	削岩機	1		バスケット型担架	1
	ハンマドリル	1	高度救助用器具	熱画像直視装置	3
呼吸保護用器具	空気呼吸器	21		簡易画像探査機	1
	空気補充用ボンベ	2	その他の救助用器具	投光器	20
	防塵マスク	11		携帯投光器	10
	送排風機	1		携帯拡声器	8
検知・測定用器具	複合ガス検知器（酸素濃度測定器含む）	2		携帯無線機	9
	放射線測定器（ポケット含む）	11		応急処置用セット	4
	可燃性ガス測定器	1		発電機	10

予防用

分類	機械器具名	数量	分類	機械器具名	数量
予防用具	煙体験ハウス	2	予防用具	消火器使用法訓練装置	3
	訓練用屋内消火栓	1			

消防水利状況

消火栓

（令和2年4月1日現在）

	第一管区	第二管区	第三管区	第四管区	第五管区	第六管区	第七管区	第八管区	合計
公設	72	72	60	69	54	65	111	59	562
私設	1		2				2		5
合計	73	72	62	69	54	65	113	59	567

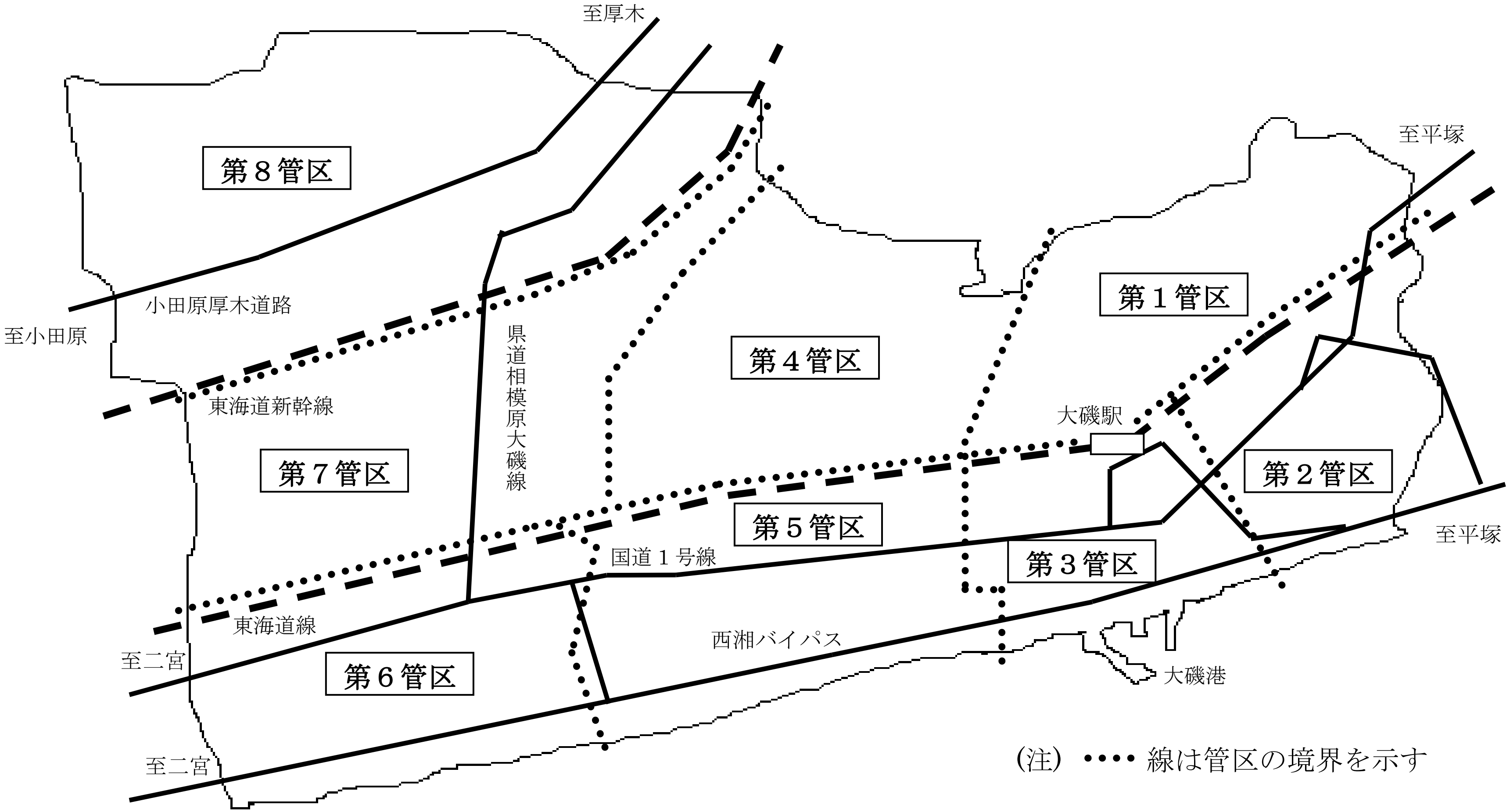
防火水槽

（令和2年4月1日現在）

		第一管区	第二管区	第三管区	第四管区	第五管区	第六管区	第七管区	第八管区	合計
公設	40㎥未満		2	6	1	1	2	1	10	23
	40㎥以上	6 (4)	11 (8)	5 (3)	3 (2)	4 (2)	9 (3)	15 (8)	3 (3)	56 (33)
私設	40㎥未満		1							1
	40㎥以上	4 (4)	3 (3)	10 (10)	3 (3)	6 (6)	7 (6)	6 (5)	3 (2)	42 (39)
合計		10	17	21	7	11	18	22	16	122

※容量40㎥以上の括弧内は、耐震性防火水槽の内数です。

町内消火栓管区図



(注) ・・・・ 線は管区の境界を示す

総　務

主要行事

（平成 31 年４月１日～令和２年３月 31 日）

４月11日	神奈川県消防長会湘南地区協議会総会（平塚市）
４月12日	神奈川県消防長会総会（川崎市）
４月19日	神奈川県消防協会湘南支部総会（湯河原町）
５月12日	消防団ポンプ性能検査（東の池）
５月15日	第18回湘南地区救助技術訓練会（藤沢市）
５月17日	神奈川県消防協会湘南地区協議会総会（二宮町）
５月24日	神奈川県消防協会評議委員会（横浜市）
６月11日	第44回神奈川県消防救助技術指導会（神奈川県消防学校）
９月７日	神奈川県消防協会湘南支部役員会（二宮町）
９月８日	神奈川県消防協会湘南地区協議会研修会（二宮町）
９月29日	大磯町総合防災訓練（大磯町内）
10月17日	消防職団員慰霊祭（神奈川県消防学校）
10月27日	チャレンジフェスタ（大磯運動公園）
11月９日	神奈川県津波対策訓練（町内）
11月20日	第30回屋内消火栓訓練（大磯ロングビーチ）
12月1日	第14回湘南国際マラソン警備（大磯ロングビーチ）
１月12日	消防出初式（大磯運動公園）
１月12日	左義長警戒警備（大磯北浜海岸）
２月１日	文化財消防訓練（旧吉田茂邸）
２月21日	神奈川県消防協会湘南支部第２回役員会（二宮町）
２月27日	多数傷病者対応訓練（大磯プリンスホテル）

消防予算額（令和2年度）

款	項	目	金　額（千円）	比　率（％）
消防費	消防費		473,832	100.00
	内　訳	常備消防費	452,110	95.42
		非常備消防費	21,564	4.55
		水防費	158	0.03

町総予算（一般会計）と消防予算との比較

単位：千円

区分＼年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
町総予算額	9,289,000	10,851,000	9,579,000
消防予算額	523,624	470,310	473,832
町総予算に対する消防予算の比率(%)	5.64%	4.33%	4.95%

消防費（令和2年度）と世帯・人口比

予算区分		額（千円）	予算総額との比率（％）	1世帯あたり（円）	人口1人あたり（円）
町総予算額		9,579,000		756,695	307,700
消防費予算額		473,832	4.95	37,430	15,221
内訳	常備消防費	452,110	4.72	35,715	14,523
	非常備消防費	21,564	0.23	1,703	693
	水防費	158	0.002	12	5

※令和2年4月1日現在、大磯町の世帯数：12,659世帯、人口：31,131人

※ 比率については、小数第三位を四捨五入しているため、合計値が合わない場合があります。

消防職員定員・実員・年齢

（令和２年4月1日現在）

年齢＼階級		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	階級無し（事務職）	計
定員		（階級別の定員無し）							50人
実員		1	10	11	16	1	4	－	43人
年齢	20歳以下						1		1
	21歳～25歳						3		3
	26歳～30歳				2	1			3
	31歳～35歳				9				9
	36歳～40歳			1	5				6
	41歳～45歳			6					6
	46歳～50歳		4	4					8
	51歳～60歳	1	6						7
平均年齢		58歳	52歳	45歳	34歳	26歳	23歳	－	40歳

火災

通信

気象

月別火災発生状況

（令和元年中）

区分／月別	火災件数計	火災種別 建物	火災種別 林野	火災種別 車両	火災種別 船舶	火災種別 航空機	火災種別 その他	原因大別 失火	原因大別 その他（放火・不審火含む）	原因大別 不明	死傷者 死傷者	死傷者 負傷者	建物火災 焼損棟数 火元棟 全焼	火元棟 半焼	火元棟 部分焼	火元棟 ぼや	延焼棟 全焼	延焼棟 半焼	延焼棟 部分焼	り災世帯数 全損	り災世帯数 半損	り災世帯数 小損	り災世帯数 計	り災人員	焼損面積 全焼	焼損面積 半焼	焼損面積 部分焼	焼損面積 計	林野焼損面積	損害額（単位：千円） 建物 建築物	建物 収容物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計
計	7件	1件	件	2件	件	件	4件	3件	4件	件	人	1人	棟	棟	棟	1棟	棟	棟	棟	世帯	世帯	1世帯	世帯	2人	㎡	㎡	㎡	㎡	a				428			9	437
1月	1						1	1																													
2月																																					
3月	1			1					1			1																					326			9	335
4月																																					
5月	1	1							1							1						1		2													
6月	1						1		1																												
7月	1						1	1																													
8月																																					
9月	1						1	1																													
10月																																					
11月																																					
12月	1			1					1																								102				102

原因別火災状況

（令和元年中）

区分 原因別（中分類）	総件数	火災種別件数 建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	月別件数 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	損害額（千円）
電気的の原因で発熱する	(1)	(1)															(1)			(2,086)
化学的の原因で発熱する																				
熱的の原因で発火する																				
火源あるいは着火物が運動により接触する	3 (4)	(1)		1			2 (3)	1		(1)		(2)		(1)		1			1	102 (3)
器具機械の材質や構造の不良に基づく	(1)						(1)							(1)						
使用方法が不良に基づく																				
主に交通機関に起こる事故																				
天災地変による																				
その他（放火、放火の疑い、火遊び等）	4 (8)	1 (3)		1			2 (5)	(1)		1 (2)	(3)	1 (2)	1	1						335 (6,334)
不明	(1)						(1)					(1)								
合計	7 (15)	1 (5)		2			4 (10)	1 (1)		1 (3)	(3)	1 (5)	1	1 (2)		1	(1)		1	437 (8,423)

※括弧内は、前年数値。

地区別出火状況

町内別＼年別	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
高麗	1		1	1	1	1		1	1		1
東町	2		1	1	2						
長者町		1					3				
山王町		1		1	1						
神明町					1	1			1		
北本町		1									
北下町	2		1						1		
南本町								1			
南下町		1	2				1	1			
茶屋町	1					1	1		3	2	
裡道			1								
台町	1			1							
西小磯東	1						1			1	2
西小磯西	1		1						2	4	1
中丸		1		2	1		1	1	2	1	1
馬場	1	1			1	3	2			1	
国府新宿	1	1		2	2	2		1	2	1	1
月京	1		1		2						
生沢						1		2		1	
寺坂				2	1					1	
虫窪		2		1					1	1	
黒岩											1
西久保								1			
石神台											
無番地	1									2	
合計	13	9	8	11	12	9	9	8	13	15	7

専用電話（119番）月別着信状況

（令和元年中）

月別 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災	5	2	4		1	1		2	1			2	18
救急	123	110	104	84	73	78	101	141	97	94	90	112	1,207
救急支援	21	8	10	18	15	9	12	14	20	19	16	21	183
救助		2		2	1	1		1				1	8
警戒	1		1	1		2			6				11
その他災害					1				1				2
調査出向			1				1						2
問合わせ	16	10	8	10	11	22	8	16	11	7	8	13	140
試験・訓練	6	2	11	1	1	6	10	3	23	1	6	7	77
いたずら													0
その他	15	4	16	8	10	15	14	27	25	17	20	33	204
間違い	2	4	4	1	9	1	3	2	5	1	1	2	35
着信総数	189	142	159	125	122	135	149	206	189	139	141	191	1,887

現有無線局状況

（令和２年４月１日現在）

所　属	種　別	型　式	出　力	台　数
消　防　署	基 地 局	デジタル消防波	２０W	1
		デジタル救急波	２０W	1
		デジタル主運用波	１０W	1
		デジタル統制波	１０W	3
	陸　上 移 動 局	デジタル車載型	５W	12
		デジタル携帯型	２W	9
		デジタル卓上型	５W	2
		アナログ署活型	１W	17
	デジタル無線用受令機			2
消　防　団	デジタル簡易無線機（登録局）	車　載　型	５W	3
		携　帯　型	５W	42

気象状況

（令和元年中）

種別／月別	気温（℃）			湿度（%）			風向・風速（m/s）		雨量（mm）	
	最高	最低	平均	最高	最低	平均	平均風向	平均風速	総雨量	時間最高
年中	35.0	−0.7	16.7	97.7	10.5	66.0	北北東	3.9	1,317.5	23.5
1月	15.0	−0.2	6.7	88.3	10.5	42.7	北北東	3.7	12.0	3.0
2月	19.4	−0.7	8.0	96.9	22.2	52.0	北北東	4.4	38.0	5.5
3月	22.3	1.7	11.1	94.7	15.8	53.9	北北東	4.4	63.5	8.5
4月	22.3	2.8	13.5	96.3	11.9	60.0	北北東	3.9	114.0	4.5
5月	26.7	9.2	19.2	97.5	19.7	68.1	南西	3.2	168.5	18.0
6月	30.6	15.1	21.4	97.7	31.1	79.6	北北東	3.4	167.0	9.5
7月	31.5	18.1	24.0	97.2	50.5	84.4	北北東	3.3	99.0	7.5
8月	34.7	22.1	27.7	96.1	51.1	81.0	南西	3.5	75.5	17.0
9月	35.0	19.6	25.3	97.7	37.5	73.6	北北東	3.7	110.0	19.5
10月	30.0	12.4	20.0	97.5	26.1	74.1	北北東	4.8	342.0	23.5
11月	23.0	3.7	14.1	97.4	25.0	62.9	北北東	4.3	66.5	4.5
12月	20.0	2.6	9.7	97.4	21.6	60.0	北北東	4.2	61.5	11.0

気象通報受信状況

（令和元年中）

内容別＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
警報	大　　雨								1	2	2			5
	洪　　水								1	2	1			4
	波　　浪					1				2	1			4
	暴　　風									2	1			3
	高　　潮										1			1
	小　　計					1			2	8	6			17
注意報	乾　　燥	2	8	7	4	1							2	24
	強　　風	16	12	14	12	3	5	4	4	5	7	9	10	101
	波　　浪		1	4	3	2	4	2	1	4	4	2	2	29
	大　　雨					3	3	4	2	3	7			22
	洪　　水					1			1	2	2			6
	雷		1	5	6	8	12	11	19	10	6	4	3	85
	濃　　霧		1					3			1	1		6
	霜			1	5									6
	低　　温	1												1
	大　　雪		1											1
	着　　雪		1											1
	風　　雪													
	津　　波													
	光化学スモッグ				1	16	7		5	1				30
	小　　計	19	25	31	31	34	31	24	32	25	27	16	17	312
情報	大　　雨					7	10	2	13	3	15		2	52
	台　　風							5	11	14	10			40
	低 気 圧							1						1
	雪	6	5										3	14
	火 災 予 防	41	38	30	26	9	4	1	3	2	2	5	10	171
	小　　計	47	43	30	26	16	14	9	27	19	27	5	15	278
合　　計		66	68	61	57	51	45	33	61	52	60	21	32	607

救急・救助

救急活動状況

（令和元年中）

月別	種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他 転院搬送	その他 医師搬送	その他 資機材等輸送	その他 その他	不搬送	本署	国府分署	計
1月	出場件数	2			5		1	26	1	2	128	7			5	15	98	79	177
	搬送人員				4		1	26	1	2	121	7					89	73	162
2月	出場件数			1	7	1	3	19		1	106	14			4	8	71	85	156
	搬送人員				8	1	3	19			105	14					66	84	150
3月	出場件数	1			9	1	1	12	1	2	109	5			2	8	74	69	143
	搬送人員				9	1		12	1		108	5					72	64	136
4月	出場件数				6	1	7	22			81	6			2	5	56	69	125
	搬送人員				6	1	7	22			78	6					54	66	120
5月	出場件数				8	2	1	17			82	4				7	56	58	114
	搬送人員				8	2	1	17			76	4					50	58	108
6月	出場件数	1			5	1	1	19		1	74	5			1	9	53	55	108
	搬送人員				4	1	1	17			71	5					48	51	99
7月	出場件数			2	2	2	1	26	1	1	96	3			1	7	65	70	135
	搬送人員				2	2	1	26	1	1	92	3					61	67	128
8月	出場件数			2	12	4	1	29	1		119	4			2	10	80	94	174
	搬送人員			1	11	4	1	28	1		114	4					75	89	164
9月	出場件数	1			15		2	28	1	2	93	7				10	81	68	149
	搬送人員				14		2	27	1	1	87	7					75	64	139
10月	出場件数				9	2		26		1	91	7				4	65	71	136
	搬送人員				14	2		26			89	7					64	74	138
11月	出場件数				9	1	1	24		1	81	7				6	58	66	124
	搬送人員				10	1	1	24			76	7					55	64	119
12月	出場件数	1			11	1	2	23			109	3			1	9	79	72	151
	搬送人員				11	1	2	23			103	3					70	73	143
本署	出場件数	5		2	48	4	9	146	3	4	587	18			10	60	836		836
	搬送人員			1	46	4	9	142	3	2	554	18					779		779
国府分署	出場件数	1		3	50	12	12	125	2	7	582	54			8	38		856	856
	搬送人員				55	12	11	125	2	2	566	54						827	827
合計	出場件数	6		5	98	16	21	271	5	11	1,169	72			18	98	836	856	1,692
	搬送人員			1	101	16	20	267	5	4	1,120	72					779	827	1,606

地区別救急出場件数

町名＼年		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
東部地区		858	893	792	821	875	861	838	852	913	889
西部地区		579	622	669	671	700	671	719	697	743	755
町内無番地		12	14	11	19	7	17	21	12	14	11
大磯町外		23	14	24	18	17	23	24	34	23	37
東部地区	高麗	101	151	125	130	117	122	138	148	150	132
	東町	79	92	69	67	79	60	85	76	72	87
	長者町	63	44	73	75	88	74	64	57	82	58
	山王町	82	90	71	80	78	78	74	76	85	87
	神明町	44	27	39	36	48	53	42	44	43	44
	北本町	23	21	12	19	18	17	18	20	13	10
	北下町	32	41	30	51	46	35	32	39	38	31
	南本町	25	17	20	18	20	13	12	20	31	27
	南下町	39	26	26	30	29	36	35	26	26	30
	茶屋町	28	38	34	41	47	53	31	36	39	46
	裡道	4	2	5	2	1	1	3	4	4	4
	台町	134	140	113	110	129	127	126	136	130	134
	西小磯東	144	158	121	117	126	141	134	121	132	131
	西小磯西	60	46	54	45	49	51	44	49	68	68
西部地区	中丸	113	141	148	141	169	152	150	158	169	192
	馬場	88	107	108	115	120	114	127	110	128	126
	国府新宿	120	132	146	132	127	129	150	139	125	142
	月京	87	81	105	120	117	109	100	84	88	105
	生沢	62	61	61	56	70	66	57	66	72	58
	寺坂	10	14	12	17	10	14	14	15	27	15
	虫窪	41	28	33	29	35	40	53	50	59	44
	黒岩	8	14	13	13	7	7	11	18	12	19
	西久保	9	6	5	5	9	11	8	8	7	5
	石神台	41	38	38	43	36	29	49	49	56	49
合計		1,472	1,543	1,496	1,529	1,599	1,572	1,602	1,595	1,693	1,692

※大磯町内の無番地地域（海岸等）は、平成19年より救急現場直近の地区とはせず、町内無番地として別枠を設けました。

時間別救急出場件数

（令和元年中）

種別＼時間別	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他
０～２	64	1			4			7			50	2			
２～４	48				2			4			41				1
４～６	55	1			4			4			42	1			3
６～８	124			1	8			11		2	101				1
８～10	233	1		1	12	7	6	47	2		151	4			2
10～12	204	2		2	15	2	5	30		1	131	15			1
12～14	203	1			16	2	2	35		1	127	17			2
14～16	183			1	15		5	39		2	108	10			3
16～18	186				10	2	3	32		4	122	10			3
18～20	153				7			28	1	1	111	4			1
20～22	128				4	1		23	1		92	6			1
22～24	111				1	2		11	1		93	3			
合　計	1,692	6		5	98	16	21	271	5	11	1,169	72			18

曜日別救急出場件数

（令和元年中）

種別＼曜日別	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他
日	290	1		3	20	1	7	49		2	201	4			2
月	257	2			8	4	4	37	1	2	186	11			2
火	232				14		2	36		1	160	15			4
水	226				19	2	3	34	1	1	154	9			3
木	213	1		2	15	1	1	41		4	137	9			2
金	228	1			11	3	2	31	2	1	165	11			1
土	246	1			11	5	2	43	1		166	13			4
合　計	1,692	6		5	98	16	21	271	5	11	1,169	72			18

年齢区分別・傷病程度別搬送人員

（令和元年中）

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他	合計
新生児	死亡												
	重症												
	中等症												
	軽症										2		2
	その他												
	小計										2		2
乳幼児	死亡												
	重症										1	1	2
	中等症							3			5	2	10
	軽症				2			18			37		57
	その他												
	小計				2			21			43	3	69
少年	死亡												
	重症							1					1
	中等症				1		1	1			1	3	7
	軽症				9		12	13			30		64
	その他												
	小計				10		13	15			31	3	72
成人	死亡										2		2
	重症				1		1	1			19	6	28
	中等症				7	4	1	12		2	66	8	100
	軽症				47	9	5	34	2		163		260
	その他												
	小計				55	13	7	47	2	2	250	14	390
高齢者	死亡							3			20		23
	重症			1	1			2		1	59	7	71
	中等症				10	2		63		1	366	40	482
	軽症				23	1		116	3		349	5	497
	その他												
	小計			1	34	3		184	3	2	794	52	1,073
合計	死亡							3			22		25
	重症			1	2		1	4		1	79	14	102
	中等症				18	6	2	79		3	438	53	599
	軽症				81	10	17	181	5		581	5	880
	その他												
	合計			1	101	16	20	267	5	4	1,120	72	1,606

(注)死　亡：初診時において死亡が確認されたものをいいます。
重　症：傷病程度が３週間以上の入院加療を必要とするものをいいます。
中等症：傷病程度が１日以上３週間未満の入院加療を必要とするものをいいます。
軽　症：傷病程度が入院加療を必要としないものをいいます。
その他：医師の診断がないもの及び、その他の場所へ搬送したものをいいます。

新生児：生後28日未満　乳幼児：生後28日以上7歳未満
少　年：7歳以上18歳未満　成　人：18歳以上65歳未満　高齢者：65歳以上

収容病院別搬送人員

（令和元年中）

地区	病院別＼事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計
大磯地区	東海大学大磯病院				18	4	2	82	3		369	6		484
平塚地区	平塚市民病院			1	62	10	8	138	2	1	460	12		694
平塚地区	平塚共済病院				15	1	5	34			237	7		299
平塚地区	済生会湘南平塚病院				3		1	7			9	2		22
平塚地区	その他の医療機関										3			3
小計				1	98	15	16	261	5	1	1,078	27		1,502
その他の地区	東海大学高度救命救急センター				3	1	3	6		3	27	38		81
その他の地区	小田原市立病院										1	1		2
その他の地区	山近記念総合病院										3	1		4
その他の地区	国立病院機構神奈川病院													
その他の地区	茅ヶ崎市立病院						1				1			2
その他の地区	医療法人財団報徳会西湘病院											1		1
その他の地区	その他の医療機関										10	4		14
小計					3	1	4	6		3	42	45		104
合計				1	101	16	20	267	5	4	1,120	72		1,606

事故種別応急処置回数

（令和元年中）

応急処置＼事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	1,120	101	267	118	1,606
止血	4	6	14	2	26
固定	18	81	101	17	217
人工呼吸のみ実施	5		1	1	7
胸骨圧迫のみ実施	3				3
心肺蘇生（胸骨圧迫＋人工呼吸）	27		5		32
※（自動胸骨圧迫器）	4		1		5
酸素吸入	295	6	25	32	358
気道確保	44		8	2	54
※（経鼻ｴｱｳｪｲ）	12				12
※（喉頭鏡・異物除去鉗子）	1		2		3
※（ﾗﾘﾝｹﾞｱﾙﾏｽｸ等）	17		3		20
※（気管挿管）			1		1
保温	541	26	103	45	715
被覆	10	20	71	11	112
在宅療法維持管理	60		2	1	63
除細動	3				3
静脈路確保	22		3		25
薬剤投与	14		3		17
その他の応急処置	903	79	219	107	1,308
血圧測定	1,073	100	253	116	1,542
聴診器による聴診	1,016	94	241	103	1,454
血中酸素飽和度の測定	1,091	100	261	117	1,569
心電図測定	990	37	143	91	1,261
血糖測定	5				5
エピペン・ブドウ糖投与	1		1	1	3
応急処置合計	6,125	549	1,454	646	8,774

※　自動胸骨圧迫器の回数は、心肺蘇生または胸骨圧迫のみを実施した場合の内数です。

※　経鼻エアウェイ、喉頭鏡、異物除去鉗子、ラリンゲアルマスク等、気管挿管の回数は、気道確保の内数です。

月別救急支援活動件数

（令和元年中）

種別／月	支援種別				合計
	交通事故	搬出困難	ヘリポート確認	その他	
1月	1	5		29	35
2月	3	3		11	17
3月	2	3	1	16	22
4月	1	1		22	24
5月	3	1	1	14	19
6月		4		12	16
7月		7		17	24
8月	7	3		17	27
9月	6	6	1	15	28
10月	2	3		24	29
11月	3	5		18	26
12月	5	8		24	37
合計	33	49	3	219	304

※ 救急支援出動とは、救急隊1隊での活動が困難であると予想される場合や、二次的災害防止等、救急活動を円滑に実施することを目的として消防隊が救急隊と同時に出動するものです。

『交通事故』… 主要幹線道路等での交通事故発生時に、二次災害防止、救急活動を安全かつ円滑に実施する目的で出動するもの。

『搬出困難』… 救急要請場所が中高層建物、急傾斜地、救急車接近困難な場所等で救急隊単独では傷病者搬出困難な場合に出動するもの。

『ヘリポート確認』… 特に緊急性が高く、重症であると判断された傷病者を、高度救命救急センターにドクターヘリコプター（救急専門医搭乗）で搬送するために、臨時ヘリポート確認へ出動するもの。

『その他』… 救急要請時に心肺停止が疑われる場合や通信員が必要と判断した場合、救急隊の活動を円滑に行なうために出動するもの。他に分類されないもの。

月別救助出動件数

（令和元年中）

月別	事故種別	火災事故	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	合計
1月	出場件数									1	1
	救助人員									1	1
２月	出場件数		1	1						1	3
	救助人員			1						1	2
３月	出場件数		1								1
	救助人員		1								1
４月	出場件数									2	2
	救助人員									2	2
５月	出場件数										
	救助人員										
６月	出場件数									1	1
	救助人員										
７月	出場件数			1						1	2
	救助人員									1	1
８月	出場件数			1							1
	救助人員										
９月	出場件数		1								1
	救助人員		1								1
10月	出場件数		1								1
	救助人員		1								1
11月	出場件数										
	救助人員										
12月	出場件数										
	救助人員										
合計	出場件数		4	3						6	13
	救助人員		3	1						5	9

予　防

防火対象物状況

（単位：棟）

項目			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1項	イ	映画館等					
	ロ	公会堂・集会場	17	17	17	19	17
2項	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場等					
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等					
3項	イ	料理店等	2	2	2	2	2
	ロ	飲食店	21	21	21	21	21
4項		店舗・マーケット等	22	28	27	26	26
5項	イ	旅館・ホテル	4	4	4	4	4
	ロ	共同住宅等	210	209	220	222	223
6項	イ	病院・診療所	6	6	7	7	8
	ロ	養護老人ホーム等	10	11	11	12	12
	ハ	老人デイサービス等	26	28	28	30	30
	二	幼稚園	4	4	3	3	3
7項		学校	27	27	27	28	29
8項		図書館等	2	2	3	5	5
9項	イ	蒸気・熱気浴場					
	ロ	イ以外の公衆浴場					
10項		駅舎	1	1	1	1	1
11項		神社・寺院等	11	12	12	12	14
12項	イ	工場・作業場	10	10	11	11	10
	ロ	映画スタジオ					
13項	イ	駐車場等	6	6	5	5	5
	ロ	飛行機等の格納庫					
14項		倉庫	10	9	10	10	9
15項		前各項に該当しない事業所	53	52	52	51	52
16項	イ	特定複合用途	35	35	36	35	36
	ロ	上記以外の複合用途	10	12	14	14	15
17項		重要文化財等	2	2	2	2	2
合　計			489	498	512	520	524

防火管理者届出及び消防計画届出状況

（令和元年度中）

防火対象物項目		種別	消防法第17条対象物	防火管理者届出義務対象物数	防火管理者届出済対象物数	消防計画届出済対象物数
1項	イ	映画館等				
	ロ	公会堂・集会場	17	17	15	14
2項	イ	キャバレー等				
	ロ	遊技場等				
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
3項	イ	料理店等	2	2	2	2
	ロ	飲食店	21	18	13	9
4項		店舗・マーケット等	26	18	17	14
5項	イ	旅館・ホテル	4	3	3	3
	ロ	共同住宅等	223	41	33	32
6項	イ	病院・診療所	8	1	1	1
	ロ	養護老人ホーム等	12	12	12	12
	ハ	老人デイサービス等	30	28	28	28
	ニ	幼稚園	3	3	3	3
7項		学校	29	27	27	27
8項		図書館等	5	5	5	5
9項	イ	蒸気・熱気浴場				
	ロ	イ以外の公衆浴場				
10項		駅舎	1			
11項		神社・寺院等	14	5	5	3
12項	イ	工場・作業場	10	3	3	3
	ロ	映画スタジオ等				
13項	イ	駐車場等	5	4	4	4
	ロ	飛行機等の格納庫				
14項		倉庫	9			
15項		前各項に該当しない事業所	52	26	27	26
16項	イ	特定複合用途	36	22	20	16
	ロ	上記以外の複合用途	15	6	4	3
17項		重要文化財等	2			
合計			524	241	222	195

火災予防関係届出状況

（令和元年度中）

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
設備	消防用設備等着工届	1	3	2	38	3	1		1	3	5	3	3	63
	消防用設備等設置届	2	3	3	8	40	12	2			5	5	10	90
	消防用設備等点検結果	16	14	11	14	12	12	12	21	13	13	15	68	221
防火管理	防火管理者選（解）任届	4	4	8	6	2	3	2	4	3	23	2	2	63
	防火管理者資格終了証再交付													
	消防計画作成（変更）届	4	5	2	2	2	2	1	3	1	2			24
	自衛消防訓練通知	5	13	18	10	7	8	14	9	5	13	18	13	133
火災予防	防火対象物使用開始届	1	2	2	4	1	4		4	1	2	2	3	26
	少量危険物貯蔵取扱い届													
	少量危険物廃止届		1				1							2
	電気設備等設置届		1			4								5
	圧縮ｱｾﾁﾚﾝｶﾞｽ等の届													
	催物開催届													
	是正改修完了報告書	10	2	12	20	11	5	4	16	11	13	12	19	135
	消防資料届													
	消防設備等特例適用申請	1	1		19									21
	変更等届	2	4	3	12	1	1	1	3	2	1		1	31
	火煙発生届			3	6	3	1	4	3	8	5	4		37
	煙火打上げ届	2	2	4	1		3	1		2				15
	道路工事届	3		2	6	4	5	5	3	5	3	9	2	47
	水道断・減水届							1						1
	火を使用する設備等の設置届			1					2				1	4
	防火対象物点検報告			1			1		1				4	7
	その他届出	5	1	2	4	1	2	2	3	5	1		1	27
合計		56	56	74	150	91	61	49	73	59	86	70	127	952

建築物消防同意状況

（平成31年度中）

項目			27年度 件数	28年度 件数	29年度 件数	30年度 件数	31年度 件数
1項	イ	映画館等					
	ロ	公会堂・集会場	1		1		
2項	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場等					
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等					
3項	イ	料理店等					
	ロ	飲食店			2	1	1
4項		店舗・マーケット等		2	2	1	
5項	イ	旅館・ホテル					
	ロ	共同住宅等	4	1	2	2	2
6項	イ	病院・診療所	1	3			
	ロ	養護老人ホーム等		1		1	
	ハ	老人デイサービス等	3	1	1	1	
	ニ	幼稚園			1		
7項		学校	1		1	2	
8項		図書館等					
9項	イ	蒸気・熱気浴場					
	ロ	イ以外の公衆浴場					
10項		駅舎					
11項		神社・寺院等				1	3
12項	イ	工場・作業場		1			
	ロ	映画スタジオ等					
13項	イ	駐車場等				2	1
	ロ	飛行機等の格納庫					
14項		倉庫	3	6	2	4	
15項		前項に該当しない事業所	6	6	10	11	3
16項	イ	特定複合用途		3	1	2	1
	ロ	上記以外の複合用途					
17項		重要文化財等					
専用住宅			98	137	93	116	88
合計			117	161	116	144	99

用途地域別建築物消防同意

（令和元年度中）

用途地域＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
合　　計	6 (11)	9 (5)	9 (4)	6 (6)	10 (3)	11 (3)	11 (7)	12 (3)	10 (7)	3	6 (10)	6 (6)	99 (65)
第１種低層 住居専用地域	(7)	(2)	(4)	(4)	1 (2)	(2)	(5)	(1)	(5)		(6)	(4)	1 (42)
第１種中高層 住居専用地域	2	3	3	4 (1)	2	7	5	11	2		4 (1)	3	46 (2)
第１種 住居専用地域	2	3	2	1	4	2	4 (1)	1	8	3	1	2	33 (1)
第２種 住居専用地域													
近隣商業地域			3	1	2	1	1				1		9
準工業地域	1	1 (1)				1			(1)		(2)	(1)	3 (5)
工業地域			1	(1)	(1)							(1)	1 (3)
住居地域													
無指定	1 (4)	2 (2)			1	(1)	1 (1)	(2)	(1)		(1)	1	6 (12)
市街化調整区域													

※　括弧内は通知件数

中高層建築物状況

（単位：棟、令和２年4月1日現在）

防火対象物項目			３　階	４　階	５　階	10　階
１項	イ	映画館等				
	ロ	公会堂・集会場	3			
２項	イ	キャバレー等				
	ロ	遊技場等				
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
３項	イ	料理店等				
	ロ	飲食店	2			
４項		店舗・マーケット等				
５項	イ	旅館・ホテル	1	1		1
	ロ	共同住宅等	22	26	6	
６項	イ	病院・診療所			1	
	ロ	養護老人ホーム等	2	1		
	ハ	老人デイサービス等	2			
	ニ	幼稚園				
７項		学校	11	1		
８項		図書館等				
９項	イ	蒸気・熱気浴場				
	ロ	イ以外の公衆浴場				
10項		駅舎				
11項		神社・寺院等	1			
12項	イ	工場・作業場	1			
	ロ	映画スタジオ等				
13項	イ	駐車場等				
	ロ	飛行機等の格納庫				
14項		倉庫				
15項		前各項に該当しない事業所	5	2	1	
16項	イ	特定複合用途	12	3		
	ロ	上記以外の複合用途	2	1	1	
17項		重要文化財等				
合　計			64	35	9	1

危険物関係届出状況

（令和元年度中）

区分＼月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
危険物保安監督者（選・解任）			1	1	1	3			1			1	8
危険物取扱所休止届				1				1					2
危険物取扱所廃止届			1				2	1					4
危険物貯蔵所休止届													
危険物貯蔵所廃止届													
危険物貯蔵所等譲渡引渡届													
危険物品名数量変更届													
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始（廃止）届出書													
危険物取扱所等設置許可													
危険物取扱所等変更許可			1									1	2
危険物取扱所等完成検査				1								1	2
危険物仮使用承認			1										1
危険物仮貯蔵承認													
危険物タンク検査													
危険物製造所等変更届	7	1		3							3		14
予防規程制定認可申請													
予防規程変更認可申請													
危険物製造所等軽微な変更届			1	1			1		1				4
合　計	7	1	5	7	1	3	3	2	2		3	3	37

37

危険物施設状況

（令和２年4月1日現在）

区分		製造所	貯蔵所 屋内	貯蔵所 屋外タンク	貯蔵所 屋内タンク	貯蔵所 地下タンク	貯蔵所 簡易タンク	貯蔵所 移動タンク	貯蔵所 屋外	取扱所 一般	取扱所 給油 営業	取扱所 給油 自家	取扱所 販売 第1種	取扱所 販売 第2種	合計
施設数															
類別	第一類														
	第二類														
	第三類														
	第四類		4	1		18		3		7	3	1			37
	第五類														
	第六類														
	混　在														
施設数合計			4	1		18		3		7	3	1			37
届出数															
許可	設置														
	変更									1	1				2
完成検査	設置														
	変更									1	1				2
タンク検査															
休　止			1			1									2
廃　止			1					3							4
仮使用・仮貯蔵・仮取扱数											1				1
届出数合計			2			1		3		2	3				11
査察実施数			4			14		3		3	3	1			28

指定数量別危険物製造所等の状況

（令和２年４月１日現在）

製造所等の別＼数量の別		５倍以下	５倍を超え10倍以下	10倍を超え50倍以下	50倍を超え100倍以下	100倍を超え150倍以下	150倍を超え200倍以下	200倍を超え1,000倍以下	計
製造所									
貯蔵所	屋内	1	2	1					4
	屋外タンク			1					1
	屋内タンク								
	地下タンク	9	2	6	1				18
	簡易タンク								
	移動タンク			3					3
	屋外								
小計		10	4	11	1				26
取扱所	給油							4	4
	第１種販売								
	第２種販売								
	一般	4	3						7
小計		4	3					4	11
合計		14	7	11	1			4	37

地区別危険物施設及び貯蔵・取扱数量

（令和２年４月１日現在）

		製造所	貯蔵所						取扱所		合計	危険物の数量
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	移動タンク	屋外	給油	一般		第４類（ℓ）
東部地区	高麗		3			1	3			1	8	109,981
	東町					1					1	3,500
	長者町										0	0
	北本町					2					2	7,000
	南本町					1					1	3,000
	南下町					1				1	2	21,500
	台町					3				1	4	33,800
	西小磯東			1						1	2	22,260
	西小磯西		1			2					3	33,350
小計			4	1		11	3			4	23	234,391
西部地区	中丸					1			1	1	3	175,727
	馬場											
	国府新宿					1			1		2	77,600
	月京					1				2	3	22,832
	生沢					1			1		2	93,000
	虫窪					2					2	6,900
	黒岩					1			1		2	68,800
小計						7			4	3	14	444,859
合計			4	1		18	3		4	7	37	679,250

消 防 団

消防団の現勢

（ 令和２年４月１日現在 ）

消防団設置年月日	昭和30年６月１日
消防分団数	１本部　　12分団
消防団員定数	184人
消防団員数	170人

小型動力ポンプ付積載車	12 台	安全帽	184個	防塵メガネ	24個
消防団無線 （デジタル簡易無線機）	45 基	ケブラー手袋	184双	投光器	17基
防火衣一式	184組	救命胴衣	184着	救助ボート	１艇

消防団の現況

（ 令和２年4月1日現在 ）

区分 分団別	消　防　団　員　数							
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
本　　部	1	3					4	8
第１分団			1	1	2	3	5	12
第２分団			1	1	2	3	5	12
第３分団			1	1	2	3	6	13
第４分団			1	1	2	3	8	15
第５分団			1	1	2	3	9	16
第６分団			1	1	2	3	7	14
第７分団			1	1	2	3	6	13
第８分団			1	1	2	3	5	12
第９分団			1	1	2	3	7	14
第10分団			1	1	2	3	7	14
第11分団			1	1	2	3	6	13
第12分団			1	1	2	3	7	14
計	1	3	12	12	24	36	82	170

消防団分団別受持区域図

消防団分団別受持区域表

本・分団別	区　　域
本　　部	全　域
第 1 分 団	高　麗
第 2 分 団	山王町、東町、長者町
第 3 分 団	台町、裡道、南本町、南下町、茶屋町
第 4 分 団	西小磯東、西小磯西
第 5 分 団	国府本郷（中丸、馬場）
第 6 分 団	国府新宿（東海旅客鉄道株式会社東海道新幹線以南の区域に限る。）
第 7 分 団	生　沢
第 8 分 団	寺　坂
第 9 分 団	虫　窪
第 10 分 団	黒岩、西久保
第 11 分 団	神明町、北本町、北下町
第 12 分 団	月京、石神台、国府新宿（東海旅客鉄道株式会社東海道新幹線以北の区域に限る。）

各分団所在地

（令和２年4月1日現在）

分団名	所在地	建築年月日	構造		延床面積
			主体	外壁	
第１分団	高麗一丁目7-7	昭和58年12月18日	鉄骨２階	ＡＬＣ	48.97 ㎡
第２分団	大磯1901-18	平成6年2月24日	鉄骨２階	ＡＬＣ	69.58 ㎡
第３分団	東小磯143-3	平成7年3月15日	鉄骨２階	ＡＬＣ	82.00 ㎡
第４分団	西小磯245	平成4年3月31日	ＲＣ２階	打放し コンクリート	54.68 ㎡
第５分団	国府本郷757-6	平成4年3月31日	鉄骨２階	押出成形 セメント板	74.88 ㎡
第６分団	国府新宿397-1	平成4年3月31日	ＲＣ２階	打放し コンクリート	69.77 ㎡
第７分団	生沢690-3	昭和60年11月28日	鉄骨２階	ＡＬＣ	67.48 ㎡
第８分団	寺坂656-4	昭和63年3月24日	鉄骨２階	ＡＬＣ	67.48 ㎡
第９分団	虫窪533-14	昭和61年12月25日	鉄骨、平	ＡＬＣ	58.93 ㎡
第10分団	黒岩45-2	昭和60年3月20日	鉄骨、平	ＡＬＣ	52.76 ㎡
第11分団	大磯992	昭和58年3月25日	ＲＣ、平	ＲＣ	43.05 ㎡
第12分団	月京6-10	平成7年10月17日	鉄骨２階	ＡＬＣ	77.40 ㎡

※　ＲＣ（鉄筋コンクリート造）

※　ＡＬＣ（鉄骨軽量気泡コンクリート造）

消防団員階級別年齢

（令和２年4月1日現在）

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計人数
18歳未満								0
18歳～20歳							1	1
21歳～25歳							3	3
26歳～30歳							2	2
31歳～35歳						3	17	20
36歳～40歳			1	2	4	7	20	34
41歳～45歳			3	3	5	5	13	29
46歳～50歳			1	1	8	11	11	32
51歳～55歳		1	3	6	4	7	8	29
56歳～59歳			2		2	1	3	8
60歳以上	1	2	2		1	2	4	12
合計人数	1	3	12	12	24	36	82	170
							平均年齢	45歳

職業別消防団員数

（令和２年４月１日現在）

農業	漁業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業・飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業	公務員	その他の産業	合計
2		27	35	5	17	12	5	2	35	4	26	170

消防団員在職年数

（令和２年４月１日現在）

30年以上	25年～29年	20年～24年	15年～19年	10年～14年	５年～９年	５年未満	合計
2	5	13	9	45	47	49	170

消防団員報酬額

（令和２年４月１日現在）

階　級	団　長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部　長	班　長	団　員
年　額	157,900円	92,900円	53,400円	40,400円	37,900円	35,500円	33,000円

消防団員費用弁償額

（令和２年４月１日現在）

出動区分	水火災	警戒	訓練
支給額	出 動 1 時 間 に つき 570 円		

消防団現有車両機械状況

（ 令和2年4月1日現在 ）

分団名	配置機械	ポンプ級	ポンプ会社名	購入年月日	無線局呼び出し符号
第１分団	積載車(ﾆｯｻﾝ)		畠山ポンプ	H28.11.28	おおいそだん101,201,301
	小型動力ﾎﾟﾝﾌﾟ	Ｂ－３	トーハツ	H28.11.28	
第２分団	積載車(ﾆｯｻﾝ)		畠山ポンプ	H21.11.11	おおいそだん102,202,302
	小型動力ﾎﾟﾝﾌﾟ	Ｂ－３	トーハツ	H21.11.11	
第３分団	積載車(ﾆｯｻﾝ)		畠山ポンプ	H27.11.17	おおいそだん103,203,303
	小型動力ﾎﾟﾝﾌﾟ	Ｂ－３	トーハツ	H27.11.17	
第４分団	積載車(ﾆｯｻﾝ)		畠山ポンプ	H22.11.30	おおいそだん104,204,304
	小型動力ﾎﾟﾝﾌﾟ	Ｂ－３	トーハツ	H22.11.30	
第５分団	積載車(ﾆｯｻﾝ)		畠山ポンプ	H28.11.28	おおいそだん105,205,305
	小型動力ﾎﾟﾝﾌﾟ	Ｂ－３	トーハツ	H28.11.28	
第６分団	積載車(ﾆｯｻﾝ)		畠山ポンプ	H27.11.17	おおいそだん106,206,306
	小型動力ﾎﾟﾝﾌﾟ	Ｂ－３	トーハツ	H27.11.17	
第７分団	積載車(ﾆｯｻﾝ)		畠山ポンプ	H22.11.30	おおいそだん107,207,307
	小型動力ﾎﾟﾝﾌﾟ	Ｂ－３	トーハツ	H22.11.30	
第８分団	積載車(ﾆｯｻﾝ)		畠山ポンプ	H26.12.23	おおいそだん108,208,308
	小型動力ﾎﾟﾝﾌﾟ	Ｂ－３	トーハツ	H26.12.23	
第９分団	積載車(いすゞ)		トーハツ	H26.3.19	おおいそだん109,209,309
	小型動力ﾎﾟﾝﾌﾟ	Ｂ－２	トーハツ	H26.3.19	※購入年月日は無償貸与日
第10分団	積載車(ﾆｯｻﾝ)		畠山ポンプ	H26.1.27	おおいそだん110,210,310
	小型動力ﾎﾟﾝﾌﾟ	Ｂ－３	トーハツ	H26.1.27	
第11分団	積載車(ﾆｯｻﾝ)		畠山ポンプ	H22.3.26	おおいそだん111,211,311
	小型動力ﾎﾟﾝﾌﾟ	Ｂ－３	トーハツ	H22.3.26	
第12分団	積載車(ﾆｯｻﾝ)		畠山ポンプ	H20.10.21	おおいそだん112,212,312
	小型動力ﾎﾟﾝﾌﾟ	Ｂ－３	トーハツ	H20.10.21	

※　各分団にはこの他に発電機、投光器を配備しています。

※　無線局呼び出し符号「3**」に関しては、H26.2.3総務省無償貸付により整備されたもの。

その他 統計

防災訓練実施状況

（令和元年中）

月　日	実施機関名（町内名･団体名）	参加消防団	団員数	参加人数	出向署員数
5　月　19　日	北下町防災隊	11分団	9	40	4
5　月　26　日	南本町自主防災隊	3分団	6	30	1
6　月　9　日	石神台自治会	12分団	7	31	1
6　月　16　日	中丸自主防災部会	5分団	6	46	1
6　月　23　日	南下町自主防災隊	3分団	8	14	1
8　月　24　日	神明町自主防災隊	11分団	4	17	1
9　月　8　日	馬場自主防災会	5分団	8	26	1
9　月　14　日	山王町内会、山王町自主防災自衛団	2分団	7	30	4
9　月　29　日	茶屋町内会、茶屋町自主防災会	3分団	4	25	1
10　月　6　日	北下町防災隊	11分団	4	40	4
10　月　20　日	黒岩地区自主防災会	10分団	7	8	2
10　月　27　日	虫窪自主防災会	9分団	4	15	1
11　月　3　日	生沢住宅自治会	なし	0	30	2
11　月　10　日	石神台自治会防災部	なし	0	25	4
11　月　16　日	高麗地区自主防災隊	1分団	4	45	1
12　月　8　日	中丸自主防災部会	5分団	3	56	4
12　月　21　日	国府新宿自主防災会	6分団	4	39	1
2　月　2　日	月京自主防災会	12分団	9	103	4
2　月　9　日	石神台自主防災部	12分団	4	54	1
	実施回数 19回　参加人数 674人				

救命講習会　講習回数及び受講者数

年区分 / 内容	平成29年中		平成30年中		令和元年中	
	講習回数	受講者数	講習回数	受講者数	講習回数	受講者数
上級救命講習			1	13	1	8
普通救命講習会	32	343	31	374	23	296
救命入門コース　※	23	551	20	561	13	537
合計	55	894	52	948	37	841

講習回数及び受講者総数

内容	講習回数	受講者数
平成17年からの 普通救命講習会	478	5,869
平成25年からの 救命入門コース	103	3,100
合計	581	8,969

※「救命入門コース」　‥平成27年7月より新設した、基本的な心肺蘇生法及び
AEDの使用方法に重点を置いた90分間のコース。

※　平成25年、平成26年の「救命入門コース」は小学生を対象としたもの。

参考資料

（令和２年４月１日現在）

	世帯数	人口	人口1万人ごとの年間発生比率		
東部地区	7,192 世帯	17,539 人	火災は	救急は	救助は
西部地区	5,467 世帯	13,592 人	3.9	519.1	3.5
合　　計	12,659 世帯	31,131 人	件	件	件

年区分 / 町内名		平成29年度			平成30年度			令和元年度		
		火災	救急	救助	火災	救急	救助	火災	救急	救助
合　　計		15	1,660	5	17	1,744	15	12	1,616	11
東部地区		8	891	1	8	935	6	8	846	9
西部地区		6	722	3	7	768	4	4	732	
町内無番地(海岸等)		1	14		2	12	5		9	2
大磯町外(応援)			33	1		29			29	
東部地区	高麗		159			149	3	1	117	1
	東町		74			86		1	87	
	長者町		62	1		74	1		61	1
	山王町		83			82			91	
	神明町	1	46			43			46	1
	北本町		16			15			12	1
	北下町	1	41			41			24	
	南本町		25			24			27	
	南下町	1	27			33			23	
	茶屋町	3	43		2	43	1		40	2
	裡道		3			5			3	
	台町		132			137			123	
	西小磯東		128		1	131	1	6	130	2
	西小磯西	2	52		5	72			62	1
西部地区	中丸	2	171	2	2	171	2		191	
	馬場	1	110	1	1	141			113	
	国府新宿	2	138		1	137		1	132	
	月京		93			90			106	
	生沢	1	70		1	67	2		62	
	寺坂		16		1	27		1	12	
	虫窪		48		1	55			47	
	黒岩		21			15		2	16	
	西久保		7			6			5	
	石神台		48			59			48	

※　火災件数は発生件数とするため、大磯町外（応援）の火災出動は合計件数へは計上しません。
※　町外救助応援出動はその他出動としているため、合計件数へは計上しません。
※　出典：平成27年に実施した国勢調査の確報数値を基準とした推計人口。

消　防　年　報

令和２年　７月発行

編集・発行　大磯町消防本部

〒255-0003　神奈川県中郡大磯町大磯 1075 番地
TEL　０４６３－６１－０９１１
FAX　０４６３－６１－７４１２